

Endeavor JT70



ユーザーズマニュアル

ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意.....	6
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意.....	8
マニュアルの読み方.....	9
各部の名称.....	14
添付されているアプリ.....	17

1 コンピューターの基本操作

Windows の基本操作.....	20
AC アダプターで使う.....	28
バッテリー（オプション）で使う.....	29
タッチパネルを操作する.....	36
ソフトウェアキーボードを使う.....	40
SSD の概要.....	41
メモリーカードを使う.....	42
USB 機器を使う.....	44
画面表示機能.....	45
外付けディスプレイを使う.....	50
サウンド機能.....	57
ネットワーク機能（有線 LAN）（オプション）.....	59
無線 LAN 機能.....	62
Bluetooth 機能.....	67
インターネットに接続する.....	72
インターネットを使用する際のセキュリティー対策.....	73
省電力機能.....	75
カメラを使う.....	78
GPS 機能.....	79
そのほかの機能.....	81

2 UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	86
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	87
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	99

3

困ったときは

トラブルが発生したら.....	108
起動・画面表示できないときは.....	109
トラブル時に効果的な対処方法.....	112
再インストール（PCを初期状態に戻す）.....	117

付録

お手入れ.....	124
コンピューターを廃棄するときは.....	125
機能仕様一覧.....	127



ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

製品保護上の注意.....	6
無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意.....	8
マニュアルの読み方.....	9
各部の名称.....	14
添付されているアプリ.....	17

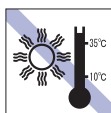
製品保護上の注意

コンピューター（本機）や周辺機器の取り扱いに関する注意事項を説明します。

使用・保管時の注意

コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターなどの同梱品に適用されます。

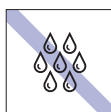


温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

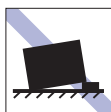
結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因となります。



不安定な所には設置しないでください。落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。

誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱装箱に入れてください。



本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。

LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。



LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。



ACアダプターはコードを持って抜き差ししないでください。
コードの断線や接触不良の原因となります。



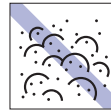
ACアダプターの上に乗ったり、踏みつけたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。

メモリーカード

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、メモリーカードに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



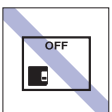
キズを付けないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



メモリーカードアクセス中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



金属端子には触れないでください。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。



金属端子にホコリや水を付けないでください。
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因となります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

マニュアルの読み方



ここでは、マニュアルの読み方について説明します。

マニュアル中の表記

本書で使用している記号や表記について説明します。














安全に関する記号

本書では次のような安全に関する記号を使用しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

 制限	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
 参考	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	 で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、  は  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
 + 	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、  を押したまま  を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別紙を示します。
「 」	マニュアルの名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

メモリーカード	マイクロ SD カード
---------	-------------

オペレーティングシステム (OS) に関する表記

本書では、オペレーティングシステム (OS) の名称を次のように略して表記します。

Windows 10	Windows [®] 10 IoT Enterprise 2019 LTSC Windows [®] 10 IoT Enterprise 2021 LTSC
------------	--

SSD 容量の記載


本書では、SSD 容量を 1GB (ギガバイト) = 1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB (ギガバイト) = 1024MB として記載しています。

Windows のモードに関する記載

本書では、Windows の操作をタブレットモードで説明しています。

 p.22 「タブレットモードとデスクトップモード」

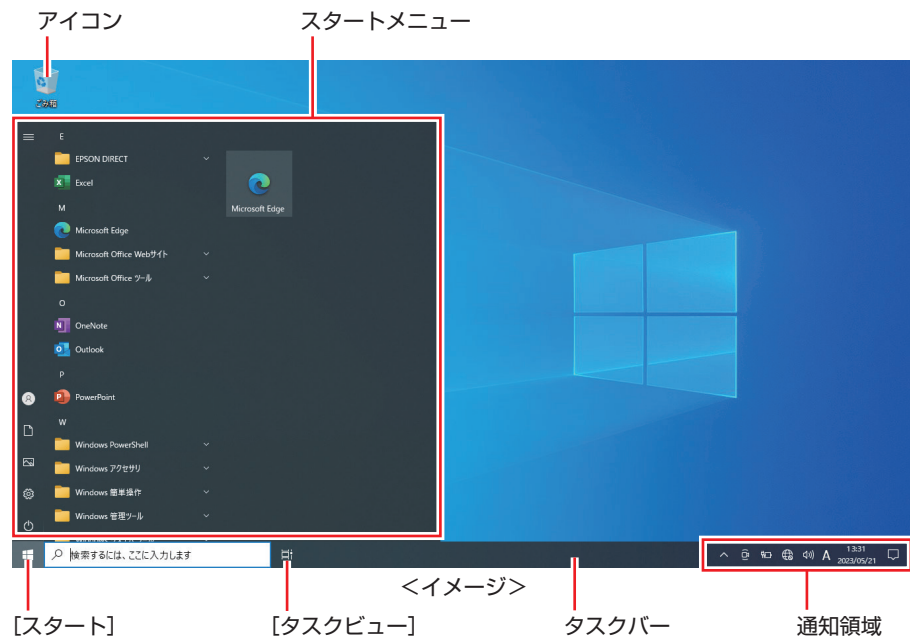
Windows の画面表示に関する記載

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

タブレットモード



デスクトップモード

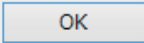


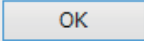
タイル / ボタン

タイルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [設定]



例)  : [OK]



コントロール パネル

本書では、コントロール パネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。

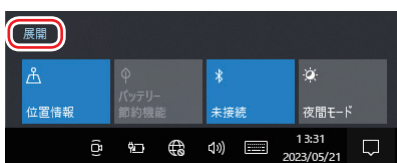


表示の
切り替え

<表示方法 : カテゴリ>

アクションセンター

本書の内容は、アクションセンターのクイックアクションが、展開されていることを前提に記載されています。クイックアクションが折りたたまれている場合は、[展開] をタップするとクイックアクションが展開されます。



<折りたたまれている状態>



<展開されている状態>

画面操作の記載

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

- 記載例

画面左上の  (すべてのアプリ) – 「Windows アクセサリ」 – 「Internet Explorer」

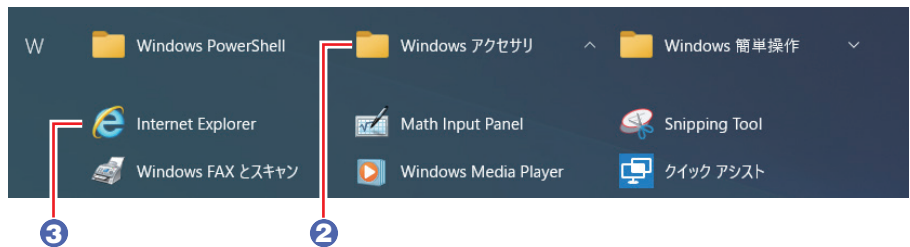
- 実際の操作

① 画面左上の  をタップします。



② 表示された一覧から「Windows アクセサリ」をタップします。

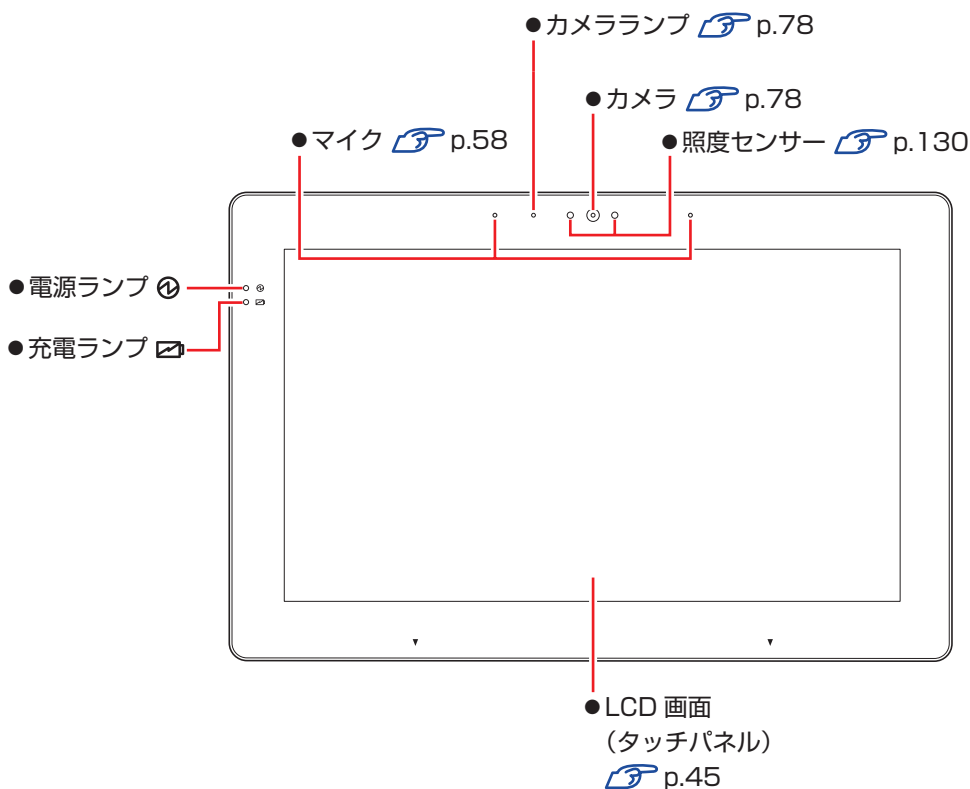
③ 表示された一覧から「Internet Explorer」をタップします。



各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

前面



ランプの表示

ランプは本機の状態を示します。

電源ランプ (①)

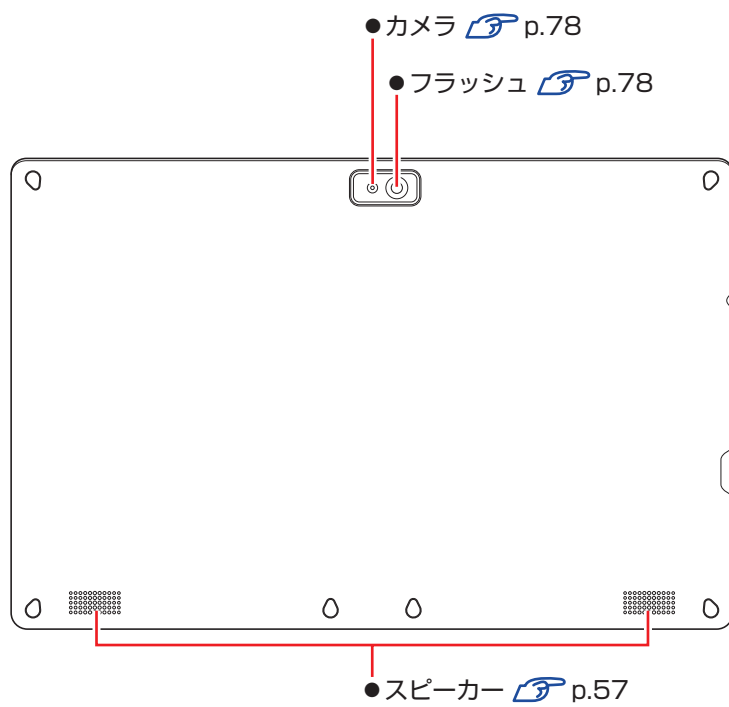
ランプの表示	電源状態
緑点灯	通常 (電源入)
消灯	スリープ、休止状態、シャットダウン (電源切)

充電ランプ (②)

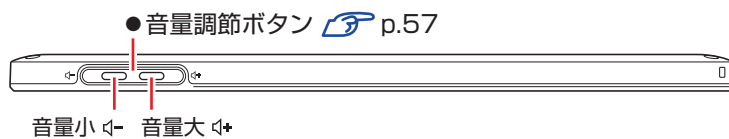
ランプの表示	充電状態
緑点灯	満充電
緑点滅	バッテリー 5% 以下
オレンジ点灯	充電中
オレンジ点滅	正常に充電されていない p.31 「正常に充電されていない場合の対処」
消灯	AC 接続無し、バッテリー無し、満充電*

* 購入時は、満充電は「消灯」に設定されています。

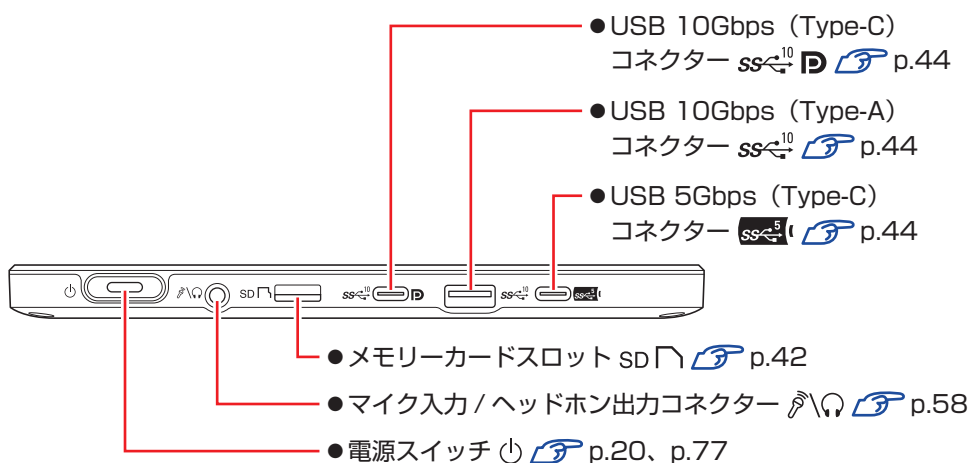
背面



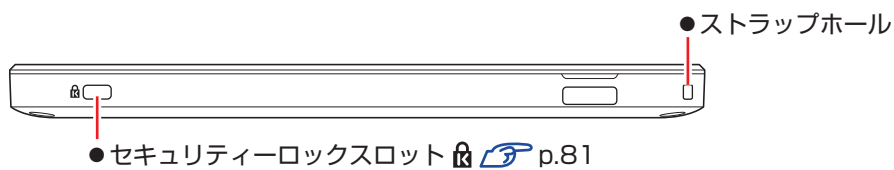
上面



左側面



右側面



添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。

※ 購入時の選択によっては、ほかにもアプリがインストールされている場合があります。

●Windows 10 IoT Enterprise

本機のおペレーティングシステム (OS) です。

●本体ドライバー

• チップセットドライバー

マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。

• グラフィックスドライバー

CPU のグラフィックス機能を使用するためのドライバーです。

• インテル グラフィックスユーティリティ (インテル グラフィックス・コマンド・センター) p.52

画面表示の切替や詳細設定をするためのユーティリティです。

• HID Event Filter ドライバー

UEFI と OS の設定値をやりとりするドライバーです。

• Intel Serial IO ドライバー

マザーボード上のデバイスと通信するためのドライバーです。

• Intel Smart Sound Technology ドライバー

コンピューター内の音声処理を円滑にするためのドライバーです。

• 無線 LAN ドライバー

無線 LAN を使用するためのドライバーです。

• Bluetooth ドライバー

Bluetooth を使用するためのドライバーです。

• GPS ドライバー

GPS 機能を使用するためのドライバーです。

• サウンドドライバー

マザーボード上のサウンド機能を使用するためのドライバーです。

• Intel Management Engine ドライバー

マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。

• バッテリー診断ツール p.33

システム状態の管理、およびバッテリーの状態を診断できるツールです。

• タッチ感度ユーティリティ p.38



タッチパネルの感度を調節するためのユーティリティです。

• ドッキングユニット用グラフィックスドライバー

ドッキングユニット (オプション) の HDMI コネクターを使用するためのドライバーです。

• ドッキングユニット用シリアルポートドライバー

ドッキングユニット (オプション) でシリアルコネクターを使用するためのドライバーです。

	<ul style="list-style-type: none"> • ドッキングユニット用ネットワークドライバー ドッキングユニット（オプション）で有線 LAN を使用するためのドライバーです。
	<ul style="list-style-type: none"> • ログアプリ ドッキングユニット（オプション）を使用する際に、認識状態やデバイスの接続状態を記録するアプリケーションです。
	<ul style="list-style-type: none"> • BatteryAgent ツール バッテリーと通信するためのツールです。
<ul style="list-style-type: none"> ● システム診断ツール  p.116 ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断できるツールです。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● Lockdown Setting Tool ドライブの保護やデジタルサイネージ設定のためのツールです。  別紙 『Lockdown Setting Tool 取扱説明書』 	

1





コンピューターの基本操作

コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows の基本操作	20
AC アダプターで使う	28
バッテリー（オプション）で使う	29
タッチパネルを操作する	36
ソフトウェアキーボードを使う	40
SSD の概要	41
メモリーカードを使う	42
USB 機器を使う	44
画面表示機能	45
外付けディスプレイを使う	50
サウンド機能	57
ネットワーク機能（有線 LAN）（オプション）.....	59
無線 LAN 機能.....	62
Bluetooth 機能.....	67
インターネットに接続する	72
インターネットを使用する際のセキュリティー対策.....	73
省電力機能	75
カメラを使う	78
GPS 機能.....	79
そのほかの機能.....	81

Windows の基本操作

ここでは、Windows の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.20
- タブレットモードとデスクトップモード  p.22
- 機能メニュー  p.26
- システムの保護を有効にする  p.27

起動と終了



Windows の起動方法 / 終了方法を説明します。

起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。


！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、SSD などの動作を安定させます。

- 1** 電源スイッチ（）を押して、本機の電源を入れます。
電源ランプ（）が緑色に点灯します。
- 2** PIN またはパスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。
 - 1** 画面を下から上へスワイプします。



<イメージ>

- 2** 入力画面が表示されたら、PIN またはパスワードを入力して  をタップします。
Windows が起動します。

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

●シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

●PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

周辺機器を接続・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。

 p.112 「再起動」




参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。


電源スイッチで終了する

電源スイッチを押してシャットダウンするように設定したい場合は、次の場所で行ってください。

画面左下の  (設定) - 「システム」 - 「電源とスリープ」 - 「電源の追加設定」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「電源ボタンを押したときの動作」を「シャットダウン」に設定

シャットダウン


シャットダウン方法は、次のとおりです。

- 1 画面左下の  (電源) をタップし、表示された項目から「シャットダウン」をタップします。

Windows が終了します。

PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。



- 1 画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の【今すぐ再起動】をタップします。

- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」をタップします。

Windows が終了します。

高速スタートアップの無効化

次のような場合は、「高速スタートアップ」を無効にしてください。

- Wake On LAN を使用して、シャットダウン状態から起動させる場合  p.60
- Power On by RTC Alarm を設定して、コンピューターを指定した時間に起動させる場合  p.102

「高速スタートアップ」を無効にする方法は、次のとおりです。

- 1** 「スタート」をタップアンドホールドして離す - 「電源オプション」 - 「電源の追加設定」 - 「電源ボタンの動作を選択する」をタップします。
- 2** 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」と表示されたら、「現在利用可能ではない設定を変更します」をタップし、「シャットダウン設定」項目の「高速スタートアップを有効にする」のチェックを外して、「変更の保存」をタップします。
これで、設定は完了です。

タブレットモードとデスクトップモード

タブレットモードとデスクトップモードについて説明します。

モードの切り替え方法

タブレットモードとデスクトップモードの切り替え方法は次のとおりです。

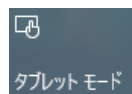
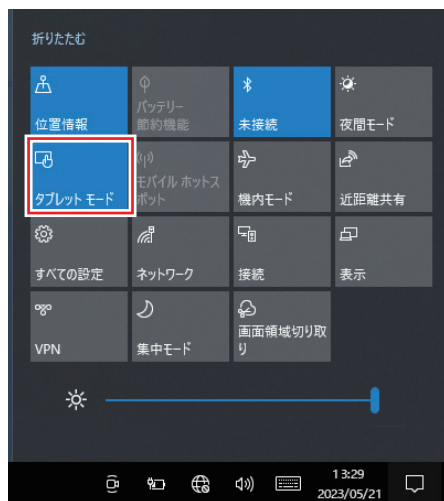
- 1** 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。



アクションセンターアイコン

- 2** 「タブレットモード」をタップします。

タップするたびに、タブレットモード / デスクトップモードが切り替わります。



<デスクトップモード>
(灰色：タブレットモード オフ)



<タブレットモード>
(青色：タブレットモード オン)

タブレットモード

タブレットモードについて説明します。

スタート画面

タブレットモードの基本画面です。画面上の各タイルをタップすると、アプリが起動します。



アプリ

アプリ起動時の画面操作について説明します。

● スタート画面に戻る

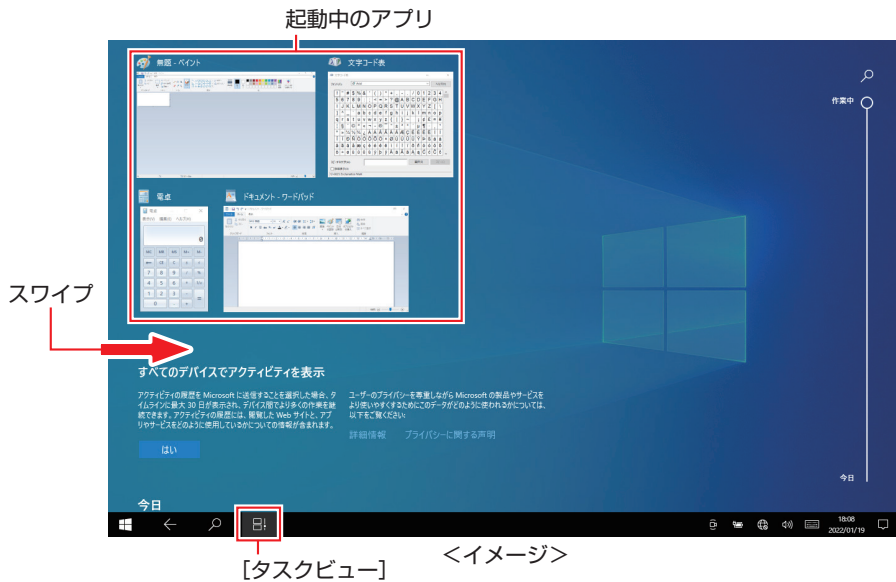
画面左下の [スタート] をタップすると、スタート画面に戻ります。



● 起動中のアプリを切り替える

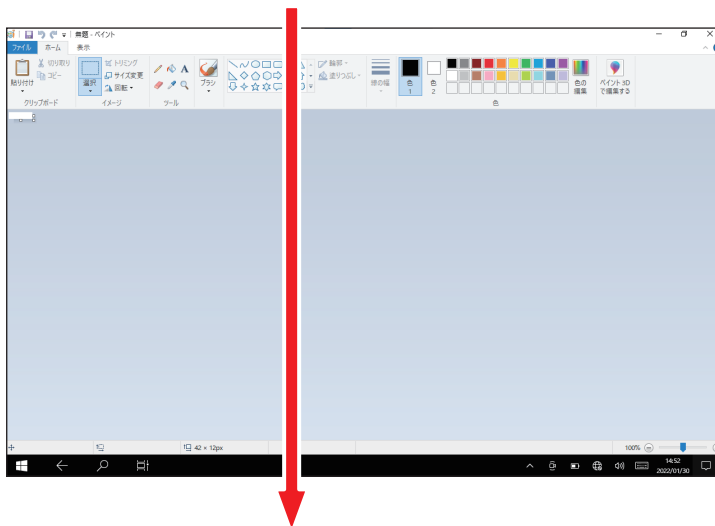
いくつかのアプリが起動している場合、タスクビューでアプリを切り替えます。

[タスクビュー] をタップまたは画面外左端から右へスワイプすると、起動中のアプリがサムネイル表示されます。使用するアプリをタップして切り替えます。



● アプリを終了する

アプリが起動している状態で、画面外上端から画面外下端までドラッグすると、アプリが終了します。

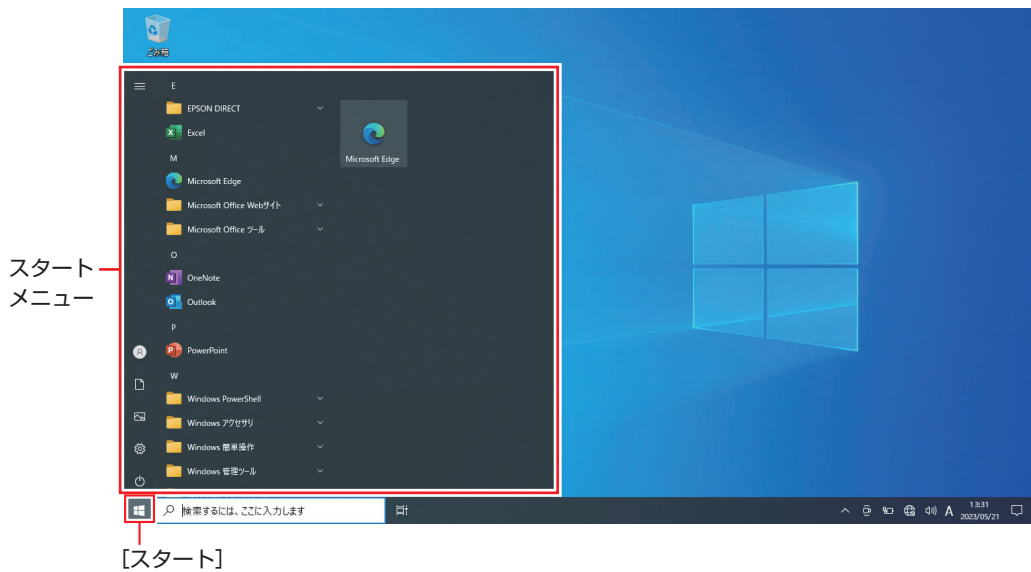


デスクトップモード

デスクトップモードについて説明します。

スタートメニュー

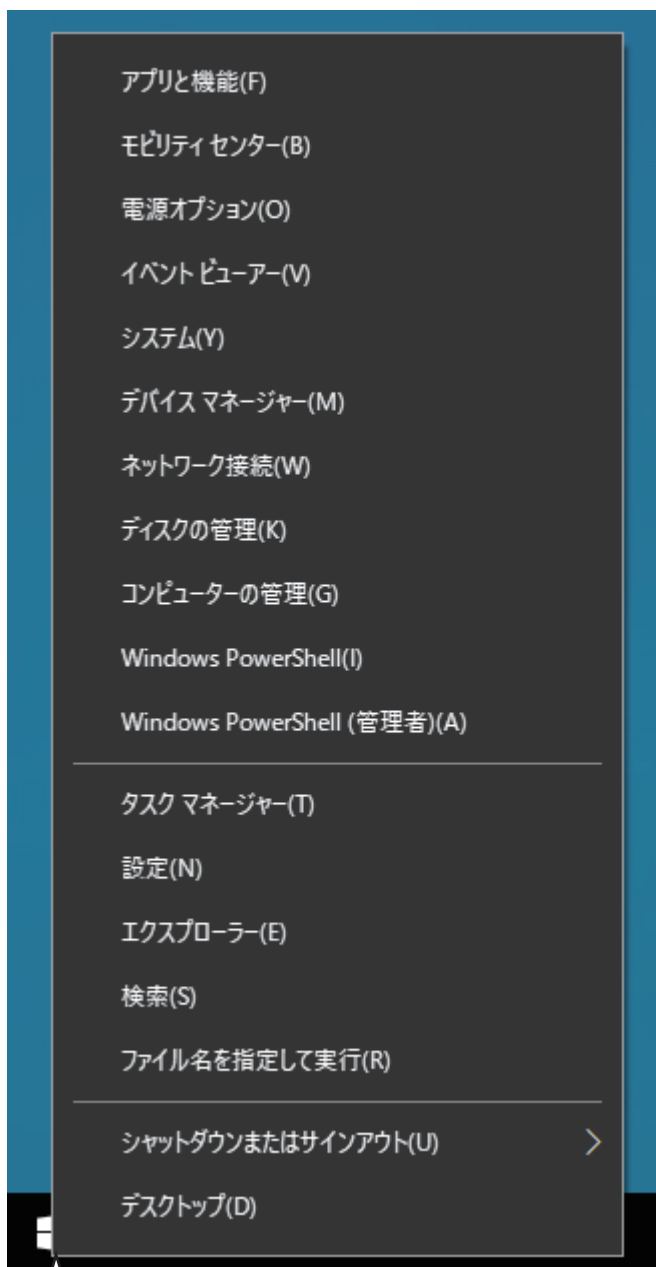
デスクトップ左下の「スタート」をタップすると、スタートメニューが表示されます。アプリを起動したり、本機の設定を行う場合は、スタートメニューを開いてください。



機能メニュー

[スタート] をタップアンドホールドして離すと、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。

※外付けのキーボードを接続した場合、 +  でも表示できます。




— タップアンドホールドして離す

< [スタート] >

システムの保護を有効にする

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。


「システムの復元」機能を使用するには、事前に「システムの保護を有効にする」設定が必要です。次の手順で設定を行ってください。

- 1** 画面左上の  (すべてのアプリ) - 「Windows システムツール」 - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「システム」 - 「システムの保護」をタップします。
- 2** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、ドライブの一覧から「Windows (C:) (システム)」を選択し、[構成] をタップします。
- 3** 「システム保護対象」画面が表示されたら、「システムの保護を有効にする」を選択し、[OK] をタップします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面で [OK] をタップします。

これでシステムの保護を有効にする設定は完了です。

ACアダプターで使う

ここでは、AC アダプターについて説明します。

バッテリー搭載時に AC アダプターを接続して使用する場合は、 p.29 「バッテリー（オプション）で使う」もあわせてお読みください。



- 本機には、必ず同梱された AC アダプターを使用してください。また、本機の AC アダプターは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- 本体を火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- 付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。



- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターを使用しないでください。感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。低温火傷の原因となります。

AC アダプターの型番

本機の AC アダプターの型番は、次のとおりです。

- AC アダプター：EDADP065-03

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機の AC アダプターを選択してください。

<https://shop.epson.jp/>

使用時の注意

本機を使用する場合は、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- アダプターを長時間接続して使用すると、AC アダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
- アダプターは頻繁に抜き差ししないでください。



バッテリー搭載時、バッテリーの容量が十分な状態で電源オフすると、ACアダプターからの電力供給を停止する省電力機能を搭載しています。

この機能を無効にしたい場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を無効にしてください。

この機能はドッキングユニット（オプション）接続時のみ設定できます。

[I/O Configuration] メニュー画面 - 「AC Power saving」: [Disabled] (無効)

バッテリー(オプション)で使う

購入時にオプション選択された場合、バッテリーが搭載されています。
ここでは、バッテリーの注意事項やバッテリーで使用方法について説明します。



- バッテリーを充電する際は、必ず同梱された AC アダプターを使用してください。感電・火傷・火災の原因となります。
- バッテリーを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体を火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。

使用時の注意

本機を使用する場合は、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 省電力状態のまま長時間使用しない場合は、完全放電しないように気をつけてください。省電力状態でも電力が消費されています。

 p.75 「省電力機能」

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電または放電されない場合があります。これはバッテリーを保護するための正常な動作です。
- 低温の環境下では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。
- バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、アプリの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.77 「時間経過で移行させない」

バッテリーを長くお使いいただくために

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機を、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 常時 AC アダプターを接続した状態（バッテリー 100% 状態）は、バッテリーの劣化を早めます。バッテリー 100% 状態での使用、放置は控えてください。
本機はバッテリーの劣化を抑えるため、購入時の設定では充電が 80% で止まるように設定されています。

 p.30 「バッテリー充電モード」

- バッテリーの劣化が早まり、バッテリー駆動での使用時間が短くなった場合は、バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

 p.33 「バッテリー診断ツール」

- リチウムイオンバッテリーは、約 300 ~ 500 回の放電で、使用可能時間が初期値の約 50 ~ 70% になります。毎日充放電を繰り返すと、1 年程度で寿命となる場合があります。使用可能時間はご使用環境によって変化し、1 年程度で初期値の 50% 以下となる場合もあります。上記数値は充放電回数を保証するものではありません。

バッテリーの充電

AC アダプターを接続すると、本機の電源が入 / 切どちらの場合でも充電が開始されます。

バッテリー充電モード


本機には、次の 2 つのバッテリー充電モード (UEFI 設定) があります。

通常は、購入時の設定「AC アダプター接続モード」のまま使用してください。

モード	最大充電容量	こんな場合に
バッテリー駆動モード	100%	• 主にバッテリー駆動で使用する場合 (駆動時間を最大にしたい場合)
AC アダプター接続モード (購入時の設定)	80%	• AC アダプターを常時接続して使用する場合 • バッテリー寿命を延ばしたい場合

バッテリー充電モードの設定は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目で変更できます。

「Advanced」メニュー画面 – 「Stop Charging」

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.100 「Advanced メニュー画面」

※「バッテリー駆動モード」にした場合は、AC アダプターを接続したままにしないでください。
常時 AC アダプターを接続した状態 (バッテリー 100% 状態) は、バッテリーの劣化を早めます。

充電開始のバッテリー残量

充電を開始するバッテリー残量は UEFI で設定されています。

購入時の設定は「- 10%」(70% 未満で充電開始) です。


UEFI の設定値	充電開始の動作
- 5%	最大充電容量 * から 5%以上充電残量が低下すると、充電が開始されます。
- 10% (購入時の設定)	最大充電容量 * から 10%以上充電残量が低下すると、充電が開始されます。

* 購入時、最大充電容量は 80%です。

 p.30 「バッテリー充電モード」

バッテリー残量の設定は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目で変更できます。

「Advanced」メニュー画面 – 「Battery Charging Settings」 – 「Start Charging Offset」

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.100 「Advanced メニュー画面」

バッテリー充電ランプの表示


ACアダプター接続時のバッテリー充電ランプ（）の表示は、次のとおりです。

ランプの表示	充電状態
緑点灯	満充電
緑点滅	バッテリー 5% 以下
オレンジ点灯	充電中
オレンジ点滅	正常に充電されていない
消灯	AC 接続無し、バッテリー無し、満充電*

* 購入時は、満充電は「消灯」に設定されています。

正常に充電されていない場合の対処

ACアダプターを接続しても充電されない場合は、バッテリー診断ツールでバッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

 p.33 「バッテリー診断ツール」



制限

バッテリー搭載時、バッテリーの容量が十分な状態で電源オフすると、ACアダプターからの電力供給を停止する省電力機能を搭載しています。

この機能を無効にしたい場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を無効にしてください。

この機能はドッキングユニット（オプション）接続時のみ設定できます。

[I/O Configuration] メニュー画面 - 「AC Power saving」: [Disabled]（無効）

バッテリーの充電時間と駆動時間

バッテリーの充電時間とバッテリーでの駆動時間は次のとおりです。

<充電時間>*1

充電100%	充電80%*2
約3.0時間	約2.0時間

<駆動時間>*1

測定法	条件	充電100%	充電80%*2
JEITA測定法3.0	動画再生時	約4.8時間	約3.3時間
	アイドル時	約12.0時間	約10.0時間
JEITA測定法2.0		約9.5時間	約7.5時間

*1 以下の条件で測定。利用状況 / 部品構成により値は変化します。

- 付属のACアダプターを使用（充電時）
- 最小構成時（駆動時）
- UEFIで「Stop Charging」（p.100）を100%または80%に設定

*2 購入時の設定値



参考

温度条件について

バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境（0 ~ 35℃）以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。

バッテリー駆動時は省電力設定を行うことをおすすめします。

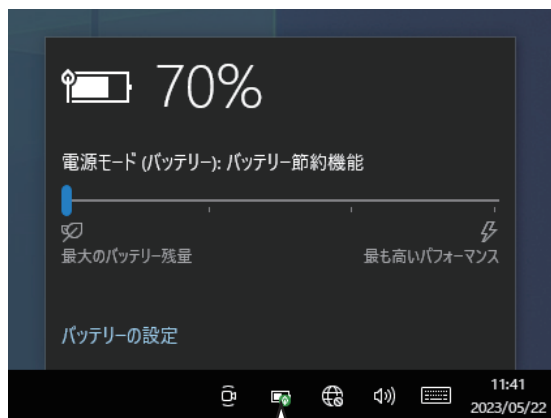
 p.75 「省電力機能」

バッテリー残量の確認と残量低下時の対処

バッテリー残量の確認方法や残量が低下した際の通知や対処方法について説明します。

バッテリー残量の確認方法

画面右下通知領域の「バッテリー」アイコンをタップすると、バッテリー残量を確認することができます。



 タップ
<バッテリーアイコン>



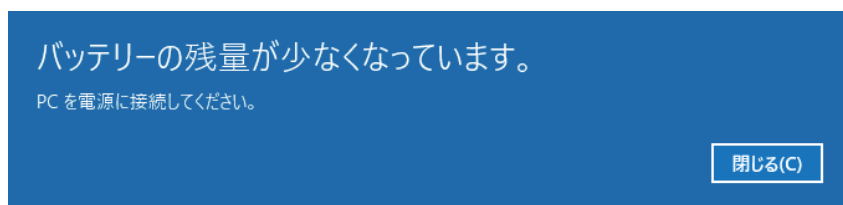
制限

充電停止レベルを 100% 未満に設定した場合、充電が完了しても Windows 上の表示は「満充電」になりません。

本機は購入時、充電停止レベルが 80% に設定されています。

バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。



バッテリー残量がさらに低下すると、本機は休止状態になります。

対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のいずれかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

- AC アダプターを接続する
- 電源を切る
作業中のデータを保存して、実行中のアプリを終了させたあと、本機の電源を切ります。



制限

AC アダプターを接続しない場合は、直ちに作業中のデータを保存してください。コンピューターがシャットダウンしてしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

バッテリーの容量がすぐに低下するときは



バッテリーは消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。

バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

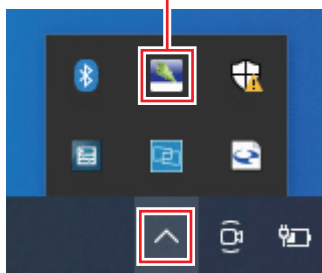
 p.33 「バッテリー診断ツール」

バッテリー診断ツール

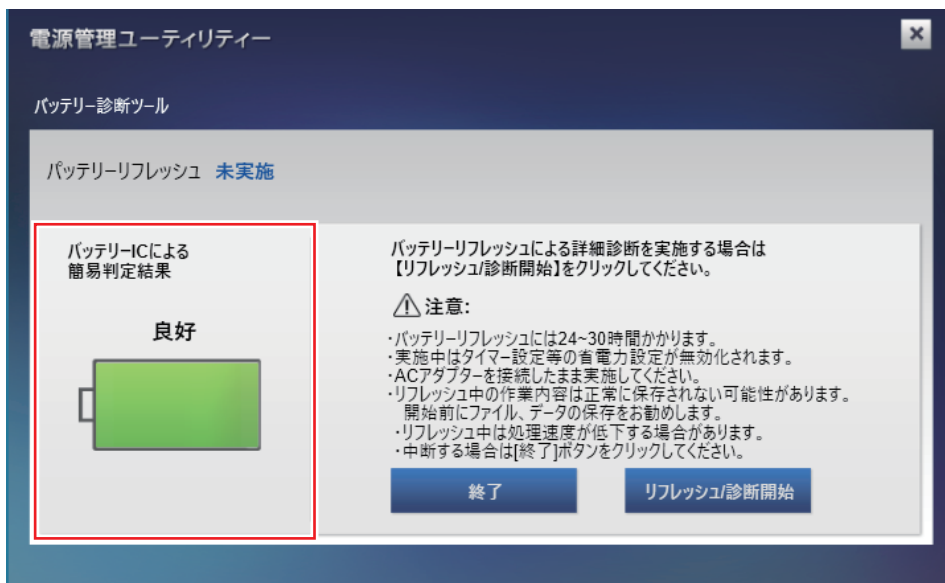
バッテリー診断ツールを使うと、バッテリーの状態を診断することができます。診断方法は次のとおりです。

- 1** タブレットモードの場合は、デスクトップモードに切り替えます。
 p.22 「モードの切り替え方法」
- 2** 画面右下通知領域の  - 「バッテリー診断ツール」アイコンをダブルタップします。

バッテリー診断ツールアイコン



3 「バッテリー診断ツール」画面が表示されたら、バッテリーの状態を確認します。



判定結果を確認したら、結果に応じた対処を行ってください。

判定結果	対処
良好（緑）	バッテリーの状態は良好です。
劣化がはじまっています（黄）	タブレット本体にACアダプターを直接接続して、[リフレッシュ / 診断開始] をタップしてバッテリーをリフレッシュしてみてください。バッテリーの状態が改善する可能性があります。画面に表示の注意事項を確認してから行ってください。
交換時期です（赤）	タブレット本体にACアダプターを直接接続して、[リフレッシュ / 診断開始] をタップしてバッテリーをリフレッシュしてみてください。バッテリーの状態が改善する可能性があります。画面に表示の注意事項を確認してから行ってください。改善されない場合は 別紙 『サポート・サービスのご案内』 をご覧になり、修理受付窓口までご連絡ください。
[使用不可]（赤） [PF]（赤）	バッテリー非搭載時は [使用不可] と表示されます。 バッテリー搭載時は 別紙 『サポート・サービスのご案内』 をご覧になり、修理受付窓口までご連絡ください。

長期間使用しないときは

1 ヶ月以上の長期に渡ってコンピューターを使用しないときは、次の状態で保管してください。

●保管の前に

- 充電容量を 50% ～ 70% にする。
- 保管場所は次のとおりとする。
 - 振動や衝撃がかからない安定した場所
 - 乾燥した冷暗所

●Shipping Mode に設定して保管する

Shipping Mode に設定すると、バッテリーの自己放電が抑えられます。設定は「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目で行います。

「Save&Exit」メニュー画面 – 「Shipping Mode」

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.105 「Save & Exit メニュー画面」


●保管後に充電できないときは

長期に渡って保管するなどし、バッテリーが過放電になると、バッテリー内の保護回路が作動し、ある日突然充電できなくなることがあります。その際は、バッテリーの診断を行い、診断結果に応じた対処をしてください。

 p.33 「バッテリー診断ツール」

バッテリーが膨張したときは

本機のバッテリーは、リチウムイオンポリマーバッテリーセルを使用しています。このバッテリーセルは、劣化に伴い、バッテリーセル内部で発生するガスにより、膨張することがあります。これはリチウムイオンポリマーバッテリーセルの特性です。バッテリーセルは密閉されており、外部にガスが漏れることはありません。

製品安全上の問題はありますが、本機内部のバッテリーが膨らんで、本機が変形している場合は、バッテリーの性能が著しく低下しています。使用を中止し、 **別紙** 『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。修理受付窓口までご連絡ください。


タッチパネルを操作する

本機のタッチパネルの操作方法について記載します。

タッチパネルの操作

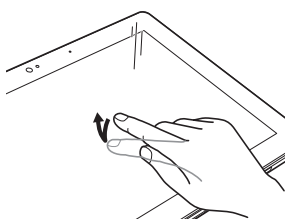
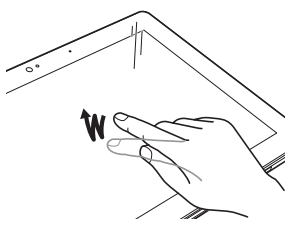
タッチパネル使用時の注意


タッチパネルは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- タッチパネルは、爪では操作できません。
- 手袋を着用した指でタッチパネルの操作はできませんが、手袋の種類によっては、タッチパネルの感度を上げることで操作が可能になる場合があります。
 p.38 「タッチ感度ユーティリティでタッチパネルの感度を上げる」
- タッチパネル表面に水滴が付着した状態や濡れた指では正常に操作できない場合があります。
- タップしたときにほかの場所が選択されたり、タップしても選択ができないような場合は、別の指や手の一部などがタッチパネルに触れていないか、確認してください。
- 使用するアプリによって、タッチパネル機能が使用できないことがあります。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、取り扱いには十分ご注意ください。タッチパネルが割れた場合、ガラスの破片が飛び散ることがあります。
- 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
- 強くたたいたり、押ししたり、ボールペンなどの硬いもので触れたり、鋭利なもので傷をつけたりしないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。
- 製品の構造上、タッチパネル表面の温度が上がる場合がありますが、故障ではありません。

タッチパネルの操作方法

本機の操作は、画面をタッチして行います。操作方法は、次のとおりです。

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 1 回軽くタッチ	クリック	<ul style="list-style-type: none">● スタート画面でタイルからアプリを起動する● 文字の入力位置を指定する● メニューの項目を選択する
ダブルタップ	 2 回軽くタッチ	ダブルクリック	<ul style="list-style-type: none">● エクスプローラーでフォルダーを開く

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ アンド ホールド	 <p>画面をタッチし続ける</p>	右クリック	<ul style="list-style-type: none"> ● 右クリックメニューを表示する ● 機能メニューを表示する  p.26
ドラッグ	 <p>タッチしたまま動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● タイルやアイコンを移動する ● テキストの範囲を選択する ● アプリを終了する  p.24
スワイプ	 <p>画面上をスッと払うように指を動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● アクションセンターを表示する (画面外右端から左へスワイプ) ● タスクビューを表示する  p.24
ズーム	 <p>2本指で画面をつまみ(ピンチ)、開いたり閉じたりする</p>	Ctrl + スクロール ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面を拡大する / 画面を縮小する
回転	 <p>2本指でタッチして回す</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● オブジェクトを回転する

タッチ感度ユーティリティーでタッチパネルの感度を上げる

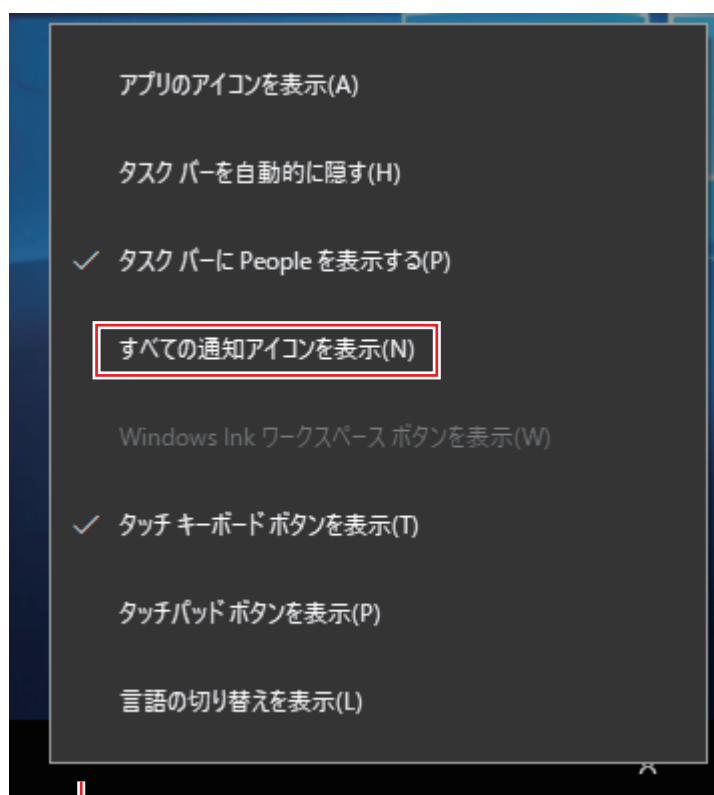
タッチ感度ユーティリティーを使ってタッチパネルの感度を上げることができます。タッチパネルの感度を上げると、手袋の種類によっては、手袋を着用した指で操作が可能になります。感度変更後、お使いになる手袋で操作できるか確認してください。

制限 アクティブペン（オプション）を使用する場合は、感度を上げずに使用してください。感度を上げると正常に操作できません。

タッチパネルの感度を上げる方法は、次のとおりです。

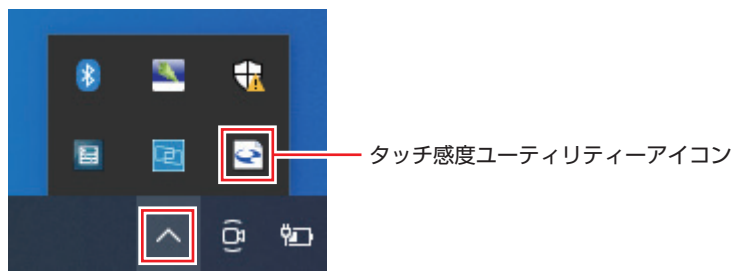
- 1 タブレットモードの場合は、タスクバーをタップアンドホールドして離し、表示されたメニューから「すべての通知アイコンを表示」をタップします。

画面右下の通知領域に  が表示されます。



↑
タスクバー

- 2** 画面右下通知領域の  「タッチ感度ユーティリティ」アイコンをダブルタップします。



- 3** 「TouchControl」画面が表示されたら、[手袋モード] を選択して、[OK] をタップします。



マウスで操作する

USB マウスや Bluetooth マウスを接続すると、マウスで画面操作することもできます。

 p.44 「USB 機器を使う」

 p.67 「Bluetooth 機能」

ソフトウェアキーボードを使う

文字の入力は、ソフトウェアキーボードを使用して行います。
画面に表示されたテキストボックスをタップすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。



キーの機能

ソフトウェアキーボードの主なキーを説明します。



SSD の概要

本機には、記憶装置として SSD が搭載されています。

！ 制限

- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると SSD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- SSD が故障した場合、SSD のデータを修復することはできません。

データのバックアップ

SSD に記録されている重要なデータは、外付けの記憶装置などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 SSD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

※ データなどの記憶内容の損害につきましては、当社では一切責任を負いかねます。

購入時のSSD領域

購入時、SSD の領域は、次のように設定されています。

領域	容量
システム	260MB
MSR	16MB
C ドライブ	残り
リカバリー	約 1GB

！ 制限

- 「リカバリー領域」は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻す (p.117) ためのデータが設定されています。
- C ドライブの領域変更(分割など)は行わないでください。動作保証していません。

メモリーカードを使う

本機左側面にはメモリーカードスロットが搭載されています。



左側面

本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、マイクロ SD メモリーカードです。イラストはイメージです。



マイクロ SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応>*

*記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。



制限

- 著作権保護機能には対応していません。
- I/O カードは使用できません。

メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の点に注意して正しく使用してください。

- メモリーカードアクセス中に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。
- データの書き込み中に電源の供給が停止すると、メモリーカードに不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.77 「時間経過で移行させない」

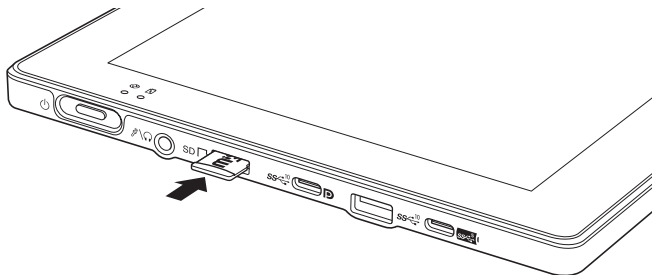
フォーマット

メモリーカードのフォーマットは、必ずメモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのセットと取り出し

メモリーカードのラベル面を LCD 画面側（端子面を背面側）にして、メモリーカードスロットに押し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

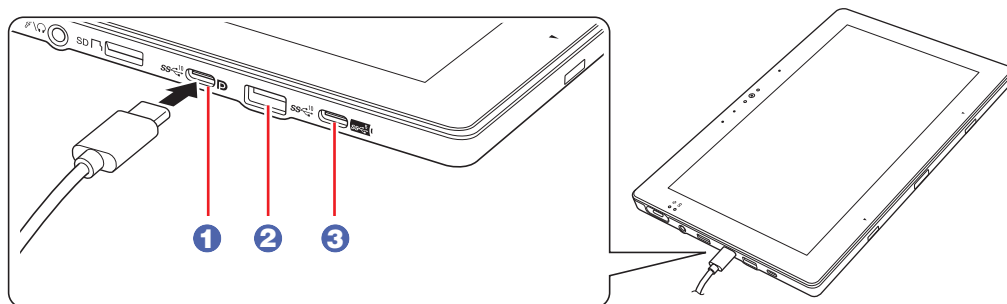


メモリーカードを取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し込むと、メモリーカードが排出されます。

USB 機器を使う

本機左側面には USB コネクタが 3 個搭載されています。

※ 転送速度は、本機のコネクタと接続する USB 機器の組み合わせによります。




番号	コネクタ名	形状	搭載位置	接続する機器
①	USB 10Gbps (USB 3.2 Gen2) *1 *3	Type-C	左側面 (上)	<ul style="list-style-type: none">• USB 機器• ディスプレイ  p.50 「外付けディスプレイを使う」
②	USB 10Gbps (USB 3.2 Gen2)	Type-A	左側面 (中)	USB 機器
③	USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) *2 *3	Type-C	左側面 (下)	<ul style="list-style-type: none">• AC アダプター• USB 機器

*1 オルタネートモードによるディスプレイポート出力対応。USB Power Delivery 対応。最大出力：10W (5V-2A)。

*2 USB Power Delivery 対応。最大出力：5W (5V-1A)、入力：45W (20V-2.25A) 以上。

*3 すべての USB Power Delivery 対応機器の動作を保証するものではありません。接続した機器による事故や故障につきましては、当社では一切責任を負いかねます。

画面表示機能

ここでは、本機の LCD 画面での画面表示について説明します。
本機では、LCD 画面のほかに外付けの表示装置を接続することもできます。
 p.50 「外付けディスプレイを使う」

LCD画面の仕様

本機では次の LCD（液晶ディスプレイ）を搭載しています。

LCD	最大解像度
11.6 型	1366 × 768

！ 制限

LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラー LCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCD は、高精度な技術を駆使して 100 万以上の画素から作られていますが、画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windows の背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。

👉 参考

LCD のドット抜け基準値

本機 LCD のドット*抜け基準値は、5 個以下です。これは全ドットの 0.00016% 以下に相当します。

*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCD では、1 個の画素が 3 個の副画素で構成されています。

本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

副画素数：3,147,264 個

表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

画面左下の  (設定) - 「システム」 - 「ディスプレイ」



画面の明るさを調整する

画面の明るさはアクションセンターで調整することもできます。

<Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC の場合 >

- 1 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。



アクションセンターアイコン

2 「明るさの調整 (☀)」をタップして調整します。

タップするたびに画面の明るさが変化します。



<Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC の場合>

画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップし、つまみを左右にドラッグして調整します。



画面を回転する

本機を回転させると、縦表示と横表示を切り替えることができます。地面方向（重力方向）が画面の下側になります。



購入時、センサー類は UEFI 上で「無効」(Disabled) に設定されています。
機能を使用する場合は「有効」(Enabled) に設定変更してください。



p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」



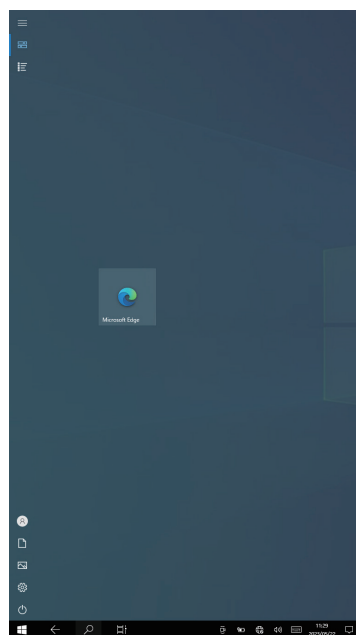
p.101 「I/O Configuration メニュー画面」

- アプリによっては縦表示に対応していない場合があります。正常に動作しない場合は、横表示で使用してください。
- 動画再生中など、アプリを終了せずに回転機能を使うと、保存されていないデータが失われるおそれがあります。
- スクリーンセーバーの起動中に回転機能を使うと、画面が乱れる場合があります。

※ 画面はイメージです。



<横表示>



<縦表示>

画面回転ロック機能のオン / オフ方法

画面回転ロック機能のオン / オフ方法について説明します。画面回転ロック機能をオンにすると、画面の回転がロックされます。

- 1 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。

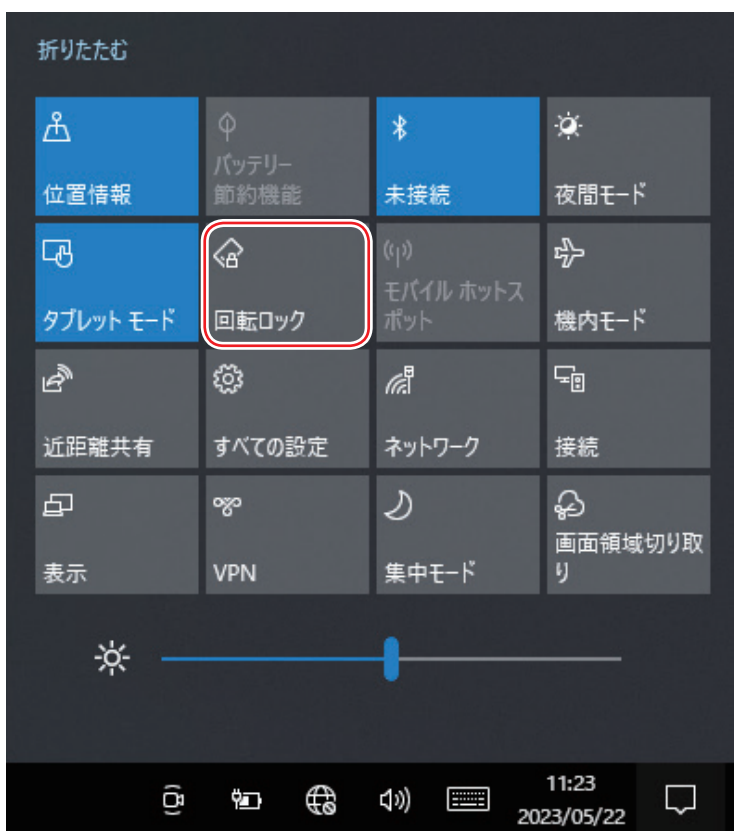


アクションセンターアイコン

- 2 [回転ロック] をタップします。

タップするたびに、画面回転ロック機能のオン / オフが切り替わります。

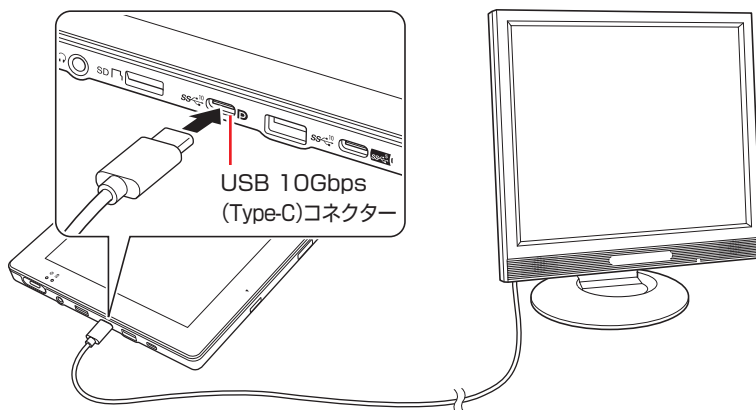
画面回転ロック機能がオンのとき、[回転ロック] は青色になり画面の回転がロックされます。



外付けディスプレイを使う

本機左側面には、USB 10Gbps (Type-C) コネクタが搭載されており、外付けディスプレイを接続することができます。

ワイヤレス（無線）での接続もできます。接続方法は [👉](#) p.55 「ワイヤレスディスプレイを使用する」をご覧ください。



制限

USB 10Gbps (Type-C) コネクタから出力時、ディスプレイによっては、省電力状態から復帰した際に画面が正しく表示されなくなる場合があります。

詳しくは、[👉](#) p.77 「画面が正しく表示されない場合」をご覧ください。

画面表示を切り替える場合は、[👉](#) p.52 「画面表示の切り替え方法」をご覧ください。

外付けディスプレイへの表示を終了する

外付けディスプレイへの表示が終了したら、Windows を終了後に必ず接続ケーブルを取り外してください。外付けディスプレイの電源が入っていても、ケーブルを接続しているだけで自動認識され、信号が出力されます。

プロジェクターの接続

プロジェクターの接続方法は、プロジェクターのマニュアルをご覧ください。

画面表示の種類

本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

※外付けディスプレイに表示する場合は、マウスで操作してください。

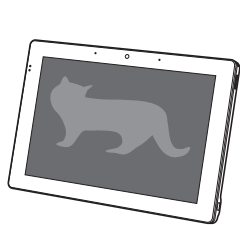
※ドッキングユニット（オプション）使用時も表示できる画面は2画面までです。

- PC画面のみ / セカンドスクリーンのみ

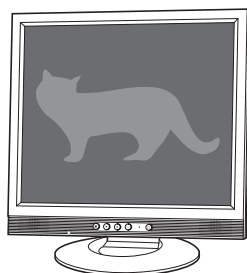
1つのディスプレイに表示します。

- 複製

2つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。



<本機>

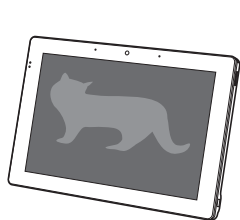


<外付けディスプレイ>

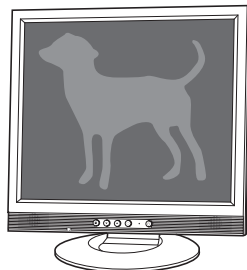
- 拡張

2つのディスプレイに対して、個別に設定をすることができます。複数の画面をコンピュータ上に表示する場合に便利です。

※拡張表示時は、デスクトップモードに切り替わります。





<本機>



<外付けディスプレイ>


画面表示の切り替え方法

画面表示の切り替え方法には、次の2つがあります。

- アクションセンターで切り替える  p.52
- 「ディスプレイ」画面で切り替える  p.53

！ 制限

- 解像度の異なるディスプレイを接続して複製に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。
- 切り替えができない場合は、ユーティリティーで切り替えてください。ユーティリティーは次の手順で起動します。

画面左上の  (すべてのアプリ) - 「インテル® グラフィックス・コマンド・センター」をタップ

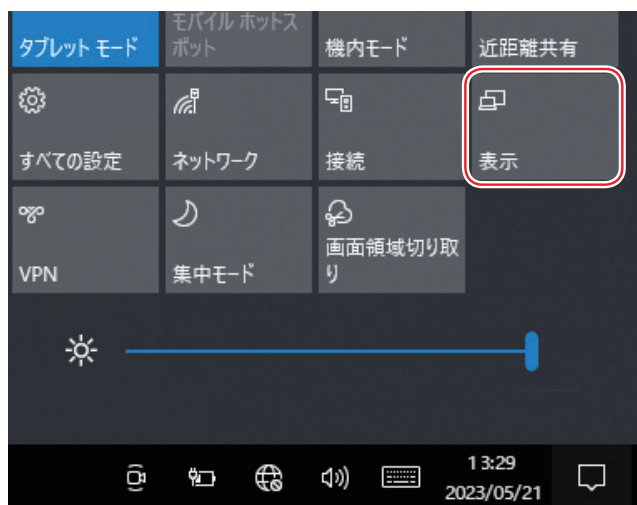
アクションセンターで切り替える

- 1 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。

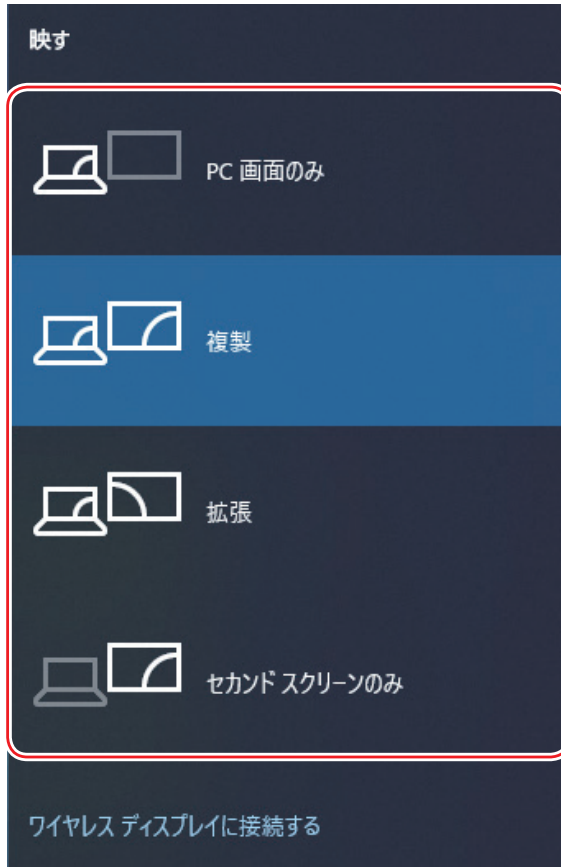


アクションセンターアイコン

- 2 [表示] をタップします。



3 画面表示の項目を選択します。



「ディスプレイ」画面で切り替える

画面表示の切り替えと詳細な設定は、次の場所で行います。

画面左下の  (設定) - 「システム」 - 「ディスプレイ」



外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

●解像度

1024 × 768
1280 × 720
1280 × 768
1280 × 1024
1360 × 768
1366 × 768
1400 × 1050
1440 × 900
1600 × 900
1600 × 1200
1680 × 1050
1920 × 1080
1920 × 1200
2560 × 1440
3840 × 2160

●表示色

32 ビット

！ 制限

- 記載している解像度は、本機に搭載された GPU の出力解像度です。表示画面の種類や接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 複製表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

ワイヤレスディスプレイを使用する

本機はワイヤレスディスプレイに対応しており、本機の画面をワイヤレスで外部ディスプレイやテレビに表示することができます。

ワイヤレスディスプレイ接続中も、無線 LAN でのインターネットの利用は可能です。

注意事項

ワイヤレスディスプレイを使用する際の注意事項について記載します。

表示に関する注意

表示に関する注意事項は、次のとおりです。

- 同時に使用できる表示装置は、本機の LCD と、ワイヤレスで接続している外部ディスプレイの 2 つまでです。
- ワイヤレスで外部ディスプレイを使用しているときは、ケーブルを使って本機に外付けディスプレイを接続しないでください。ワイヤレスで接続しているディスプレイとの接続が切断されます。
- 次の画面はワイヤレスディスプレイに表示できません。
 - UEFI Setup ユーティリティ
 - Windows 起動中の画面
 - スリープ状態から復帰中の画面
 - シャットダウン中の画面
- ワイヤレスで接続すると、音声は接続した外部ディスプレイからの出力に切り替わります。
- ワイヤレスで表示した画面では、マウスポインターやウィンドウの移動、入力した文字などの表示に遅延が生じます。

使用に関する注意

使用時の注意事項は、次のとおりです。

- 無線 LAN 機能がオフの場合は、ワイヤレスディスプレイを使用できません。
- ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因でテレビや外部ディスプレイに画面が表示されない場合や、画面（画像）が乱れる場合があります。画質は、接続したディスプレイやテレビの仕様により異なります。
- ワイヤレスディスプレイの接続とインターネット接続を同時に行う場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続が完了してから、ワイヤレスディスプレイの接続を行ってください。

 p.66 「本機をアクセスポイントに接続する」

ワイヤレスディスプレイに接続する

ワイヤレスディスプレイに接続する方法は次のとおりです。

1 ワイヤレスディスプレイを本機の近くに設置します。

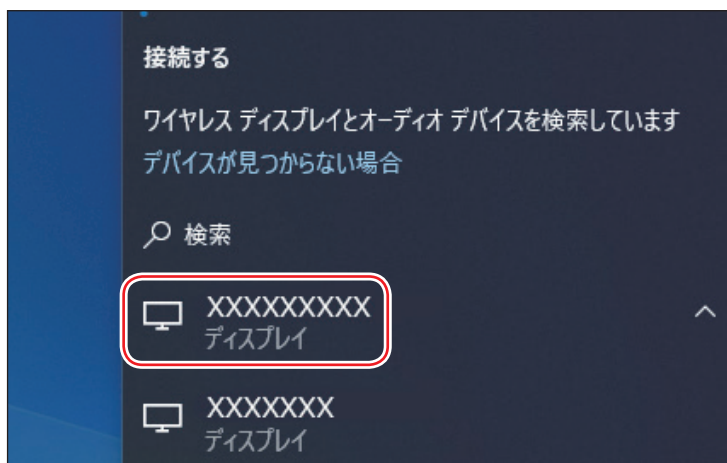
2 ワイヤレスディスプレイを検出し、接続します。

- ① 画面右下通知領域の「アクションセンターアイコン」をタップし、表示された項目から「接続」をタップします。



アクションセンターアイコン

- ② 表示されたワイヤレスディスプレイをタップします。



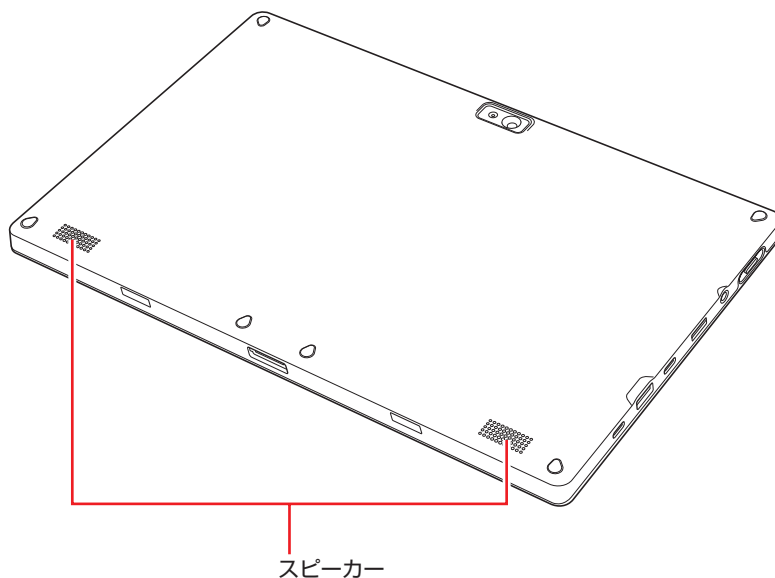
ワイヤレスディスプレイ側に画面が表示されたら、作業は完了です。

サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

スピーカー

本機背面には、スピーカーが内蔵されており、音源からの音声を出力することができます。



音量の調節

スピーカーの音量は、次の場所で調節します。

- 本機上面の音量調節ボタン



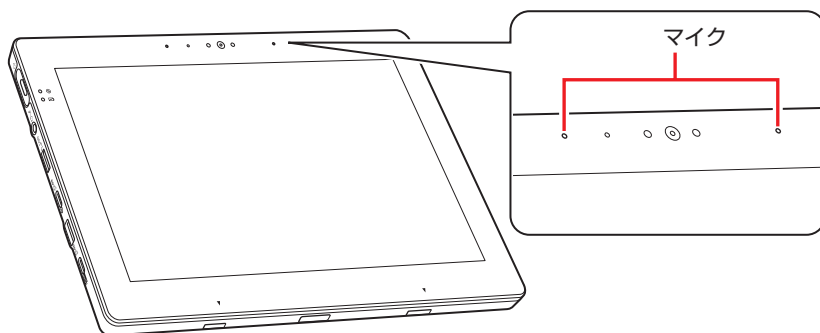
- 画面右下通知領域のスピーカーアイコン



<スピーカーアイコン>

マイク

本機前面にはマイク（ステレオ）が内蔵されており、音声を録音することができます。



オーディオ機器の接続

本機左側面には、オーディオ機器（ヘッドホン、スピーカー、マイクなど）を接続するためのコネクタが搭載されています。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



左側面

！ 制限

マイク入力/ヘッドホン出力コネクタでは、3極ミニプラグのヘッドホンや4極ミニプラグのスマートフォン用ヘッドホンマイク（CTIA規格）が使用できます。




< 4極ミニプラグ >

※ 3極ミニプラグのマイク（ステレオ、モノラル）は使用できません。

👉 参考

ヘッドホンやスピーカー、マイクを接続したら

マイク入力/ヘッドホン出力コネクタにヘッドホンやスピーカー、マイクを接続すると、自動的に接続した機器が使用可能になり、内蔵スピーカーや内蔵マイクの機能は無効になります。

USB 10Gbps (Type-C) コネクタにディスプレイを接続すると、ディスプレイから音声出力できます。接続については  p.50 「外付けディスプレイを使う」をご覧ください。

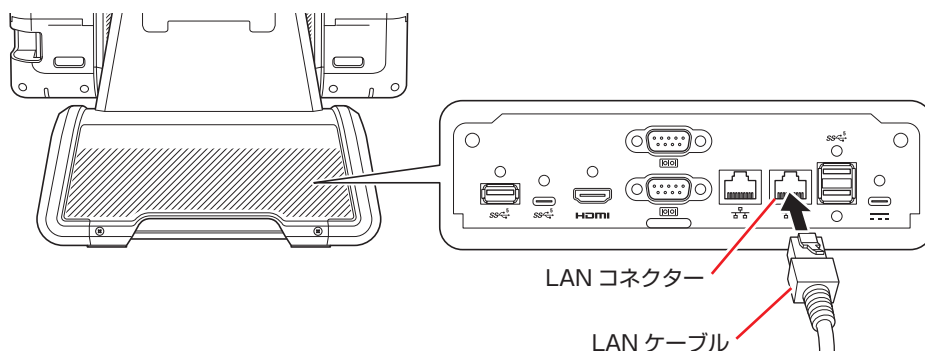
ネットワーク機能(有線 LAN)(オプション)

ドッキングユニット添付時のみ

ドッキングユニット背面には、1000Base-T/100Base-TX/10Base-T に対応したネットワーク機能(有線 LAN)が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、背面の LAN コネクター(品)に市販の LAN ケーブルを接続します。



制限

有線 LAN を使用する場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。


 p.64 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ、サーバーなどが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.77 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

Wake On LAN

Wake On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。



制限

- シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行えません。
- この機能はドッキングユニット（オプション）接続時のみ使用できます。

Wake On LAN を行う場合は、次の設定が必要です。

- ネットワークアダプターの設定 p.60
- UEFI の設定 * p.61
- 高速スタートアップの無効化 * p.22

* シャットダウン状態から起動させる場合は設定してください。

ネットワークアダプターの設定

ネットワークアダプターを次の状態に設定してください。

[スタート] をタップアンドホールドして離す - 「デバイスマネージャー」 - 「ネットワークアダプター」 - 「Realtek USB Gbe…」


- 「詳細設定」 タブ
 - LAN 上のウェークアップのシャットダウン：有効
 - ウェイク・オン・パターン・マッチ：無効
 - ウェイク・オン・マジック・パケット：有効
- 「電源の管理」 タブ
 - 「このデバイスで…」：チェックあり
 - 「Magic Packet でのみ…」：チェックあり



UEFI の設定

シャットダウン状態から起動させる場合は、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の項目を有効にしてください。

「Power」メニュー画面 - 「Power On By WOL」: [Enabled] (有効)

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.102 「Power メニュー画面」



参考

Wake On LAN を設定している場合

UEFI の設定で、Wake On LAN (Power On By WOL and PCIE Devices) が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピューターが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

リモートブート

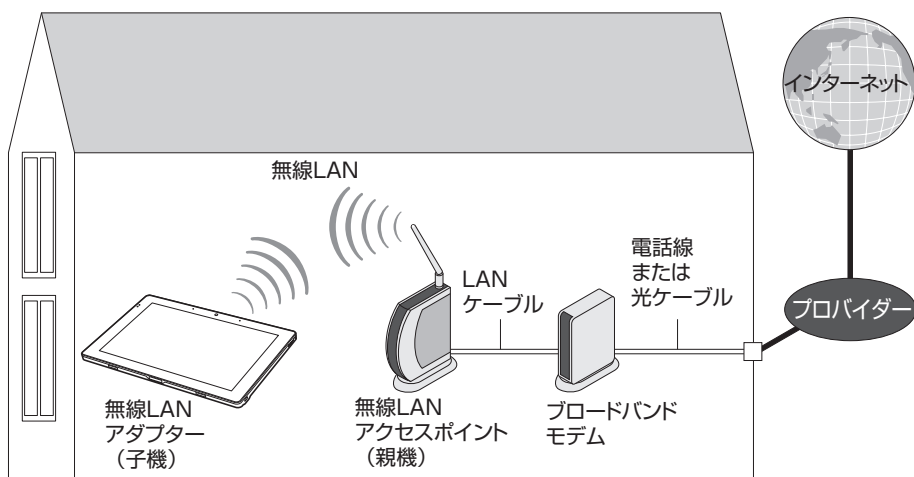
リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上から Windows をインストールすることができます。

無線 LAN 機能

本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

無線LANの概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。




無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線 LAN	ワイヤレス LAN、Wi-Fi
無線 LAN アクセスポイント	親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、無線 LAN ルーター
無線 LAN アダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子

無線LAN使用時の注意


無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。

 p.129 「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。



- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線LAN機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線LAN機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 p.77 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- 本機の無線LAN機能は、Wake On LANとリモートブートには対応していません。

無線LAN機能のオン/オフ方法

無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。



警告

航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。

電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。



制限

バッテリーのみで本機を使用している場合、無線 LAN 機能がオンになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。

無線 LAN を使用しない場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

- 1 画面右下通知領域の「ネットワーク」アイコンをタップします。



ネットワークアイコン

- 2 ネットワークメニューが表示されたら、[Wi-Fi] をタップします。

タップするたびに、無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。

無線 LAN 機能がオンのとき、[Wi-Fi] は青色になります。



[Wi-Fi]



参考

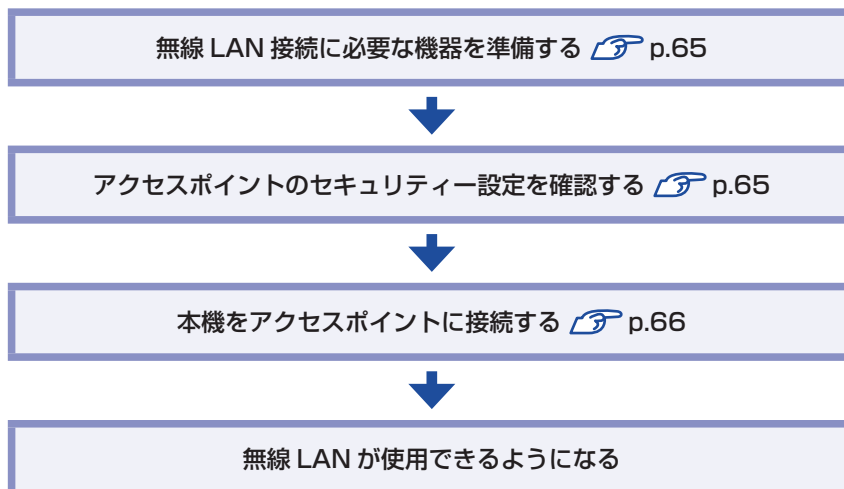
機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN、Bluetooth、GPS）がオフになります。

無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。



参考

かんたん接続機能

アクセスポイントによっては、かんたん接続機能で無線 LAN 接続できる場合があります。まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に必要な機器を準備する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

- ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）
インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。
- 無線 LAN アクセスポイント
本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものを用意してください。ブロードバンドモデムに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されている場合は不要です。

アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続して、電源を入れてください。詳しくは、各機器に添付のマニュアルを参照してください。

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。

アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定（暗号化キー）を確認してください。セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定した暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。

この作業は初めて接続するときのほかに暗号化キーを変更したときや、Windows の再インストールをした場合にも行います。

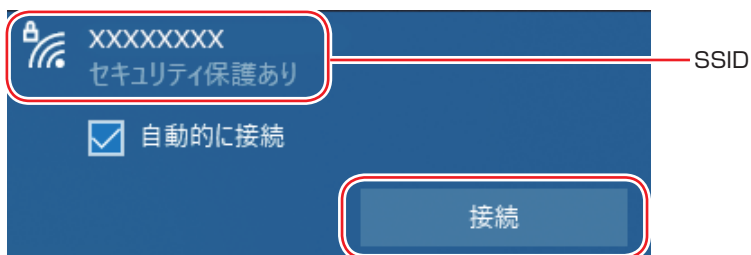
- 1** 画面右下通知領域の「ネットワーク」アイコンをタップして、表示されたネットワークメニューで本機の無線 LAN 機能をオンにします。

 p.64 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

- 2** アクセスポイントに接続します。

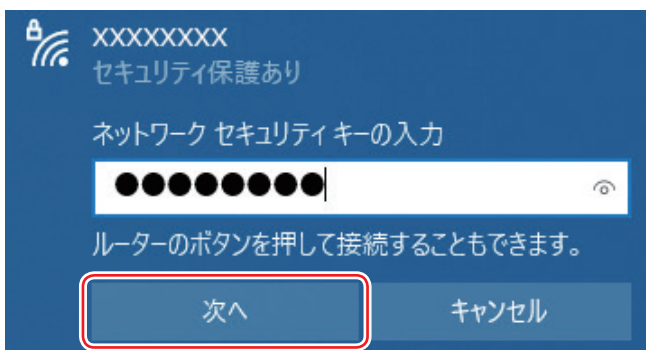
- 1** ネットワークメニューから接続するアクセスポイントの SSID を選択し、[接続] をタップします。

※ 接続するアクセスポイントの SSID が表示されない場合は、アクセスポイントの状態を確認してください。



- 2** ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力し、[次へ] をタップします。

※ PIN 入力画面が表示された場合は、アクセスポイントのラベルに印字された PIN を入力してください。



これで接続作業は完了です。

プロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「プロファイル」として自動的に保存されます。プロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

Bluetooth 機能

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。

Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



制限

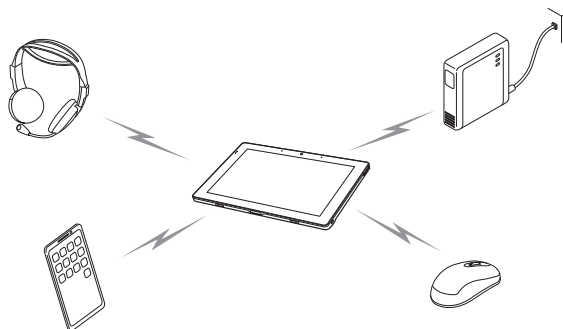
購入時、Bluetooth 機能は UEFI 上で「無効」(Disabled) に設定されています。機能を使用する場合は「有効」(Enabled) に設定変更してください。



p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」



p.101 「I/O Configuration メニュー画面」



Bluetooth機能をお使いの前に

Bluetooth 機能を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。



p.129 「電波に関するご注意」もあわせてお読みください。



警告

- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視室 (CCU) には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通信可能な距離

通信可能距離は通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

通信時の確認事項

Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください。
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

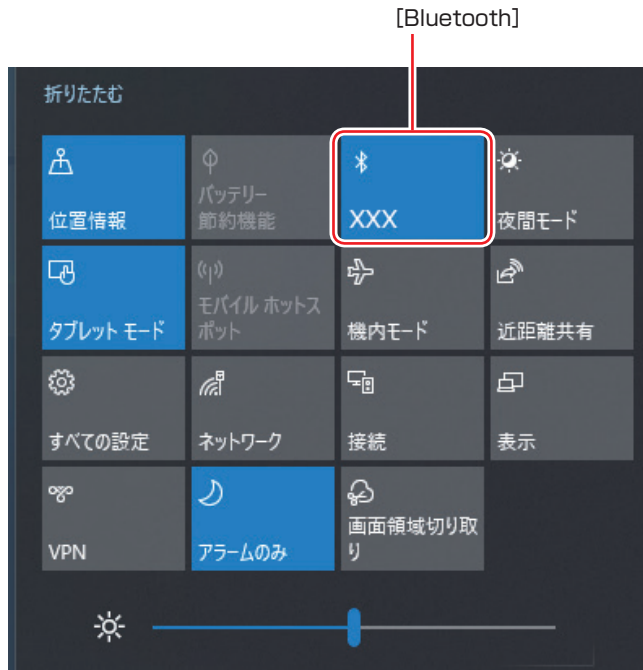
- 1** 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。



アクションセンターアイコン

2 [Bluetooth] をタップします。

タップするたびに、Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。
Bluetooth 機能がオンのとき、[Bluetooth] は青色になります。



参考

機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN、Bluetooth、GPS）がオフになります。

Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

Bluetooth 対応機器の検出・追加

Bluetooth 対応機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

※ Bluetooth 対応機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

1 Bluetooth 対応機器を本機の近くに設置します。

2 本機の Bluetooth 機能を「オン」にします。
 p.68 「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」




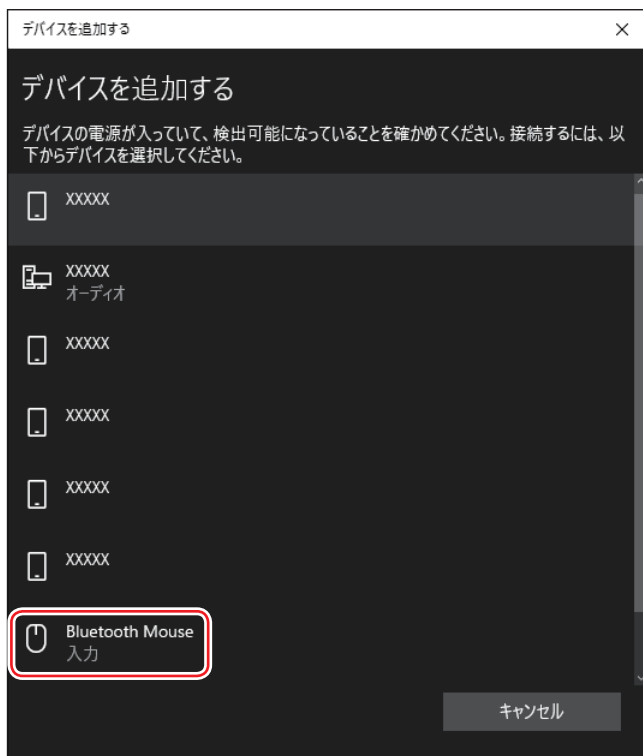
3 Bluetooth 対応機器の電源を入れ、ペアリングモードにします。

手順は機器のマニュアルをご覧ください。

4 Bluetooth 対応機器を検出し、ペアリングします。

ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。

- 1 画面左下の （設定） - 「デバイス」 - 「Bluetooth とその他のデバイス」 - 「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」をタップします。
- 2 「デバイスを追加する」画面が表示されたら、[Bluetooth] をタップします。
- 3 表示された一覧から、デバイス（マウス）を選択します。



- 4 パスコードの入力画面が表示された場合は入力して [次へ] をタップします。

マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。

ペアリング完了後、マウスを動かしてみて、操作できることを確認してください。

これで Bluetooth 対応機器の検出・追加は完了です。


Bluetooth 対応機器を使用する

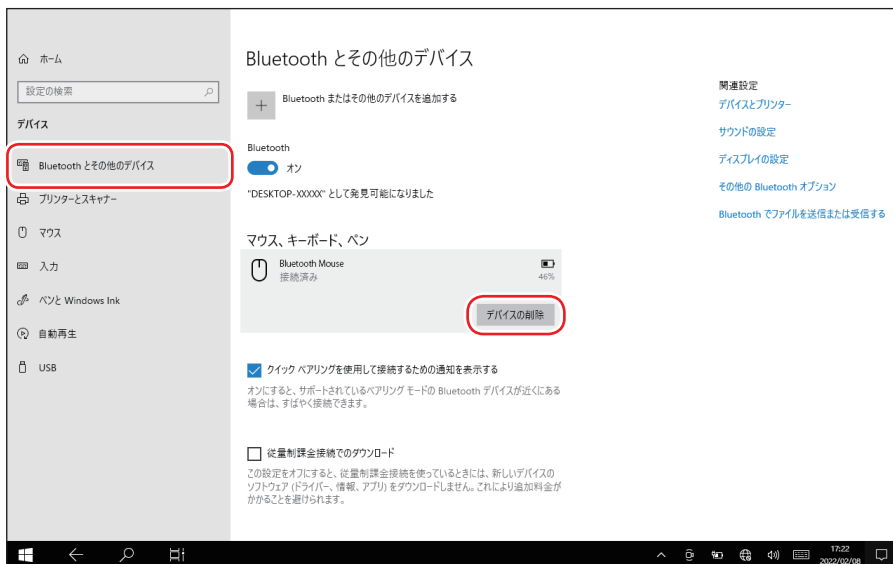
追加が完了すると、Bluetooth 対応機器を使用できるようになります。

一度追加を行うと、次回以降は自動的に機器に接続します。

Bluetooth 対応機器の接続を解除する

Bluetooth 対応機器の接続を解除する方法は次のとおりです。

- 1 画面左下の （設定） - 「デバイス」 - 「Bluetooth とその他のデバイス」の一覧に表示されているデバイスを選択し、[デバイスの削除] をタップします。



- 2 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら、[はい] をタップします。

インターネットに接続する

インターネットを利用するには、プロバイダーとの契約が必要です。
インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。
※外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。


インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。
ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows Update の設定は次の場所で確認できます。

画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「詳細オプション」




※ 本機はドライバーの更新が行われないように設定されています。

Windows セキュリティ

Windows.には、最新のウイルス対策を提供する、「Windows. セキュリティ」が含まれており、Windows.をセットアップすると、自動的に機能が有効になります。

Windows. セキュリティの状況確認と各機能の詳細設定は次の場所で行います。

画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「Windows セキュリティ」



<イメージ>




参考

市販のセキュリティ対策アプリを使用する

市販のセキュリティ対策アプリをインストールすると、機能の競合を防ぐため、Windows. セキュリティは無効になります。

メモリ整合性の設定

本機は出荷時、セキュリティ強化のため、「メモリ整合性」が「オン」に設定されています。

[スタート] -  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「Windows セキュリティ」 - 「デバイスセキュリティ」 - 「コア分離の詳細」 - 「メモリ整合性」

省電力機能




ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
 - 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ アプリを起動している
 - 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 -  p.77 「時間経過で移行させない」
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
 - ・ USB 10Gbps (Type-C) コネクタから出力時：ウィンドウの位置や画面の解像度が変わる可能性
 -  p.77 「画面が正しく表示されない場合」
 - 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で、周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
 - ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
-  p.77 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る

省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

- スリープ

作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープの状態を設定した時間経過した場合、またはバッテリー残量が設定したパーセンテージまで低下した場合は、自動的にメモリーの内容が SSD に書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

- 休止状態

作業内容を SSD に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

省電力状態に移行する方法

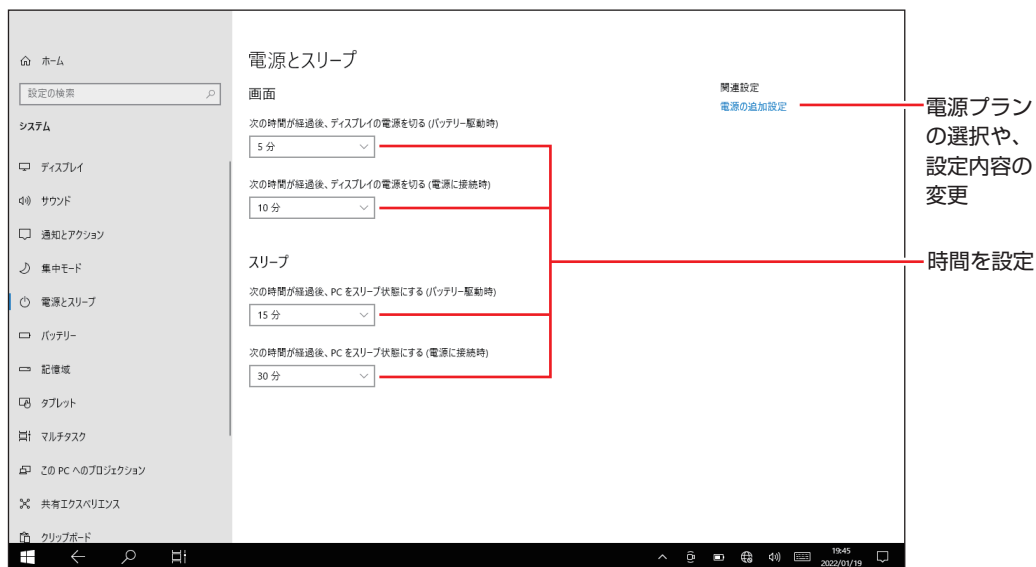
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

画面左下の （設定） - 「システム」 - 「電源とスリープ」



電源とスリープ

画面

次の時間が経過後、ディスプレイの電源を切る (バッテリー駆動時)

5 分

次の時間が経過後、ディスプレイの電源を切る (電源に接続時)

10 分

スリープ

次の時間が経過後、PC をスリープ状態にする (バッテリー駆動時)

15 分

次の時間が経過後、PC をスリープ状態にする (電源に接続時)

30 分

電源プランの選択や、設定内容の変更


時間を設定

時間経過で移行させない

外付け USB HDD に大量のデータを書き込む場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
電源スイッチ (⏻) を押す	スリープ (初期値)
画面左下の  (電源) から項目を選択する	スリープ

電源の状態

本機の電源の状態は、電源ランプ () (p.14) で確認できます。

ランプの表示	電源状態
緑点灯	通常 (電源入)
消灯	スリープ、休止状態、シャットダウン (電源切)

省電力状態からの復帰方法

電源スイッチ (⏻) を押すと、省電力状態から通常の状態に復帰します。

画面が正しく表示されない場合


外付けディスプレイを使用している場合 USB 10Gbps (Type-C) コネクタの仕様で、ウィンドウの位置や画面の解像度が変わるなどの不具合が発生することがあります。不具合を回避するには、以下の2つの方法があります。

<ディスプレイ側で設定する>

お使いのディスプレイの設定変更で対応できる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルで対処方法をご確認いただくか、ディスプレイの販売元にお問い合わせください。

<省電力状態への移行を無効にする>

時間経過で省電力状態へ移行する設定を無効にする手順は次のとおりです。

- 1** 画面左下の  (設定) - 「システム」 - 「電源とスリープ」 - 「電源の追加設定」をタップします。
- 2** 「電源オプション」画面が表示されたら、使用している電源プランの「プラン設定の変更」をタップします。
- 3** 「プラン設定の編集」画面が表示されたら、「ディスプレイの電源を切る」と「コンピューターをスリープ状態にする」項目を「適用しない」に設定し、[変更の保存]をタップします。

バッテリー駆動時の設定を「適用しない」に設定した場合は、バッテリー残量に注意してお使いください。


カメラを使う

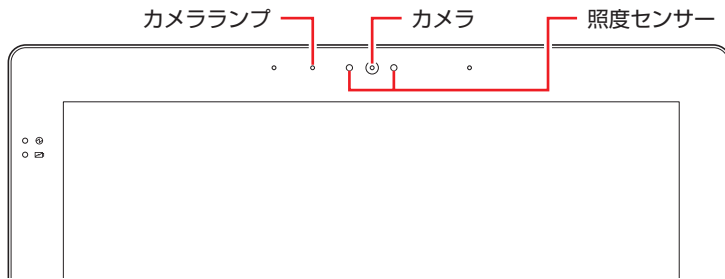
本機前面と背面には、カメラが搭載されており、写真や動画を撮影することができます。

！ 制限

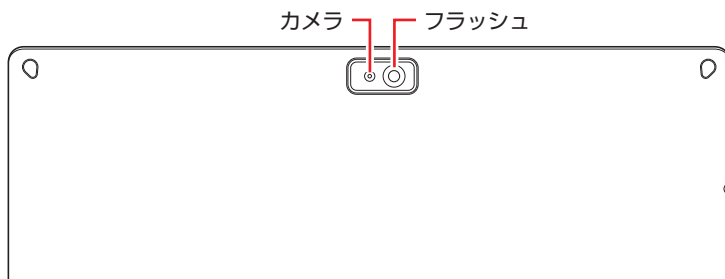
購入時、カメラ機能は UEFI 上で「無効」(Disabled) に設定されています。機能を使用する場合は「有効」(Enabled) に設定変更してください。

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.101 「I/O Configuration メニュー画面」



<前面>



<背面>

！ 制限

- カメラのレンズ周辺には触れないでください。汚れや傷がつくと、撮影する画像が劣化します。
- カメラを太陽に向けしないでください。カメラの故障の原因となります。電源切状態でも向けしないでください。

GPS 機能

本機には GPS 機能が搭載されています。GPS とは、衛星からの信号を受信し、現在地を測位する機能です。

！ 制限

購入時、GPS 機能は UEFI 上で「無効」(Disabled) に設定されています。機能を使用する場合は「有効」(Enabled) に設定変更してください。

 p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」

 p.101 「I/O Configuration メニュー画面」

GPSに関する注意

GPS 機能使用時、測位場所などの状態により、正常に現在地を測位できない場合があります。たとえば、次のような場所や状態では、現在地を検出できない可能性があります。現在地を検出できない場合は、位置を変えてみてください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 本機の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 自動車や電車などの車内
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨や雪などの悪天候

GPS機能のオン/オフ方法

GPS 機能のオン / オフ方法について説明します。

- 1 画面右下通知領域の「アクションセンター」アイコンをタップします。

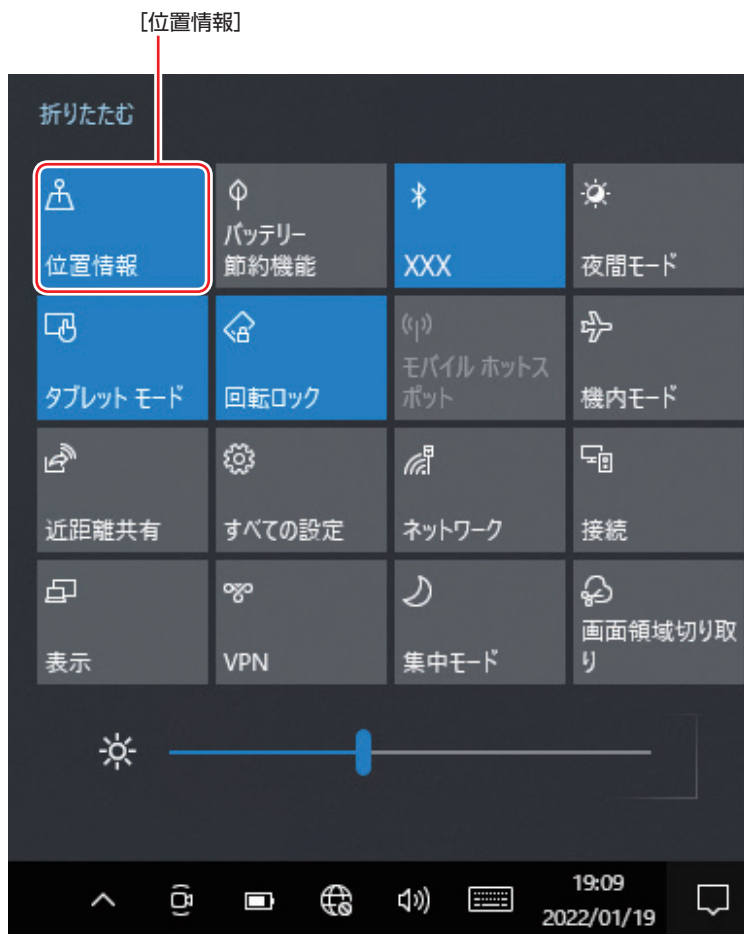


アクションセンターアイコン



2 【位置情報】 をタップします。

タップするたびに、GPS 機能のオン / オフが切り替わります。
GPS 機能がオンのとき、【位置情報】 は青色になります。



参考

機内モード

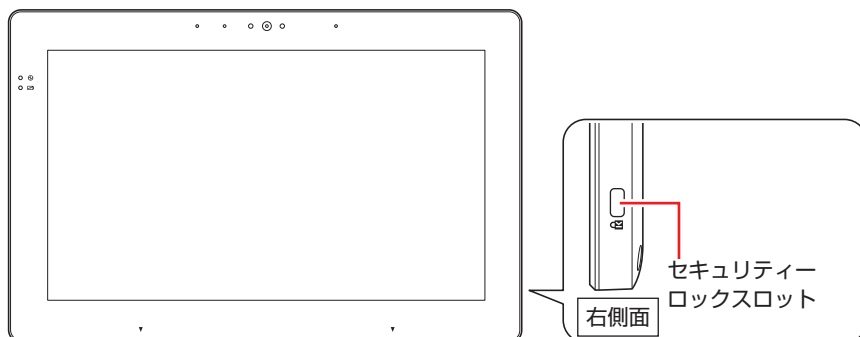
機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN、Bluetooth、GPS）がオフになります。

そのほかの機能

ここでは、そのほかの機能について説明します。

セキュリティーロックスロット

本機には、「セキュリティーロックスロット」が搭載されています。ここには、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けます。



当社では、専用の盗難抑止ワイヤー（セキュリティーロック）を取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/>

ログアプリ

ログアプリを使用すると、ドッキングユニット（オプション）のコンネクターや内部のICの認識状況、接続状況をログファイルに出力することができます。

ログアプリの有効化 / 無効化

ログアプリの有効化 / 無効化方法について説明します。

有効化

ログアプリを有効にする方法は次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「EPSON DIRECT」 - 「ログアプリ」をタップします。

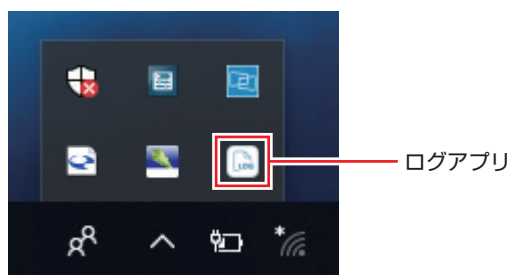


- 2** ログアプリが起動したら、「ログ機能」を「有効」にして「決定」をタップします。



- 3** 「設定を反映するためには、再起動が必要です…」と表示されたら、「再起動」をタップします。

再起動後、画面右下通知領域に「ログアプリ」アイコンが表示され、ログアプリが常駐化します。



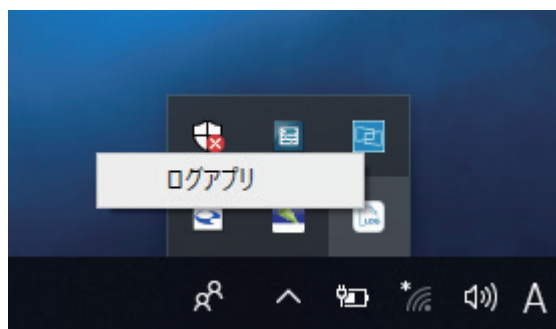
ログ機能が「有効」になっていると、ログファイル保存先（以下の場所）にログが出力されます。

C:\Program Files (x86)\EPSON DIRECT\Logging\Log

無効化

ログアプリを無効にする方法は次のとおりです。

- 1** 次のどちらかの方法でログアプリを起動します。
- [スタート] – 「EPSON DIRECT」 – 「ログアプリ」をタップ
 - 画面右下通知領域の「ログアプリ」アイコンをタップアンドホールド – 「ログアプリ」をタップ



2 ログアプリが起動したら、「ログ機能」を「無効」にして「決定」をタップします。



ログアプリが無効になります。

ログアプリの動作

ログアプリの動作について説明します。

ログファイルの更新条件

ログファイルは以下のイベントが発生時にログファイルを更新します。

※ OS のイベントトリガーでログしているため、タイミング次第ではログに残らない場合があります。

	トリガー	ドック接続時の出力	ドック非接続時の出力
1	ログ開始時 (OS 起動時)	(Date) (Time) Logging start (デバイスリスト表示)	(Date) (Time) Logging start Cannot detect Dock
2	ログ終了時 (OS シャットダウン時)	(Date) (Time) Logging end	(Date) (Time) Logging end
3	30 分経過	(Date) (Time) 30 min have passed (デバイスリスト表示)	(Date) (Time) 30 min have passed Cannot detect Dock
4	タブレットがドックに接続された時	(Date) (Time) Dock detect (デバイスリスト表示)	-
5	タブレットがドックから取り外された時	-	(Date) (Time) Dock lost
6	ログアプリの「有効」選択時	(Date) (Time) Selected Enabled	(Date) (Time) Selected Enabled
7	ログアプリの「無効」選択時	(Date) (Time) Selected Disabled Logging end	(Date) (Time) Selected Disabled Logging end
8	デバイスイベント発生時 (デバイスマネージャー更新時)	(Date) (Time) Device event detect (デバイスリスト表示)	-

ログファイルの出力内容

ログアプリは以下の条件で各コネクタ、IC等の状況をログファイルに出力します。

	正常認識時	認識異常時
HUB	[OK]	[Lost]
LAN IC, HDMI IC, COM IC	[OK]	[Lost]
COM Port	[OK]	[Lost]

	デバイス検出時	デバイス非検出時
USB Port	(デバイス名が表示)	N/A
HDMI port	Connected	N/A

ログファイルの出力例

以下は 2nd ディスプレイ付きドッキングユニットに、USB マウス 1 個が接続された際のログファイルです。

```
2023/04/11      10:06:22      Device event detect
Device list -----
Parent HUB : [OK]
Child HUB  : [OK]
GChild HUB : [OK]
  USB A Port 1 : N/A
  USB A Port 2 : N/A
  USB A Port 3 : N/A
  USB A Port 4 : PixArt USB Optical Mouse
  LAN IC 1   : [OK]
  LAN IC 2   : [OK]
  HDMI IC    : [OK]
  HDMI Monitor : Connected
  USB C Port : ILITEK ILITEK-TP
COM IC : [OK]
  COM Port 1 : [OK]
  COM Port 2 : [OK]
-----
```

2

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	86
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	87
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	99

UEFI の設定を始める前に



制限

当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 購入時に無効に設定されている機能を使用する場合
- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



参考

リチウム電池の寿命

UEFI Setup ユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったくない場合 (p.105 Shipping Mode 設定時含む)、電池の寿命は約 5 年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。

 **別紙** 『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.92 「Load Setup Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

 p.92 「Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- ユーザーの設定値を保存する
- パスワードを設定する

UEFI Setupユーティリティの起動

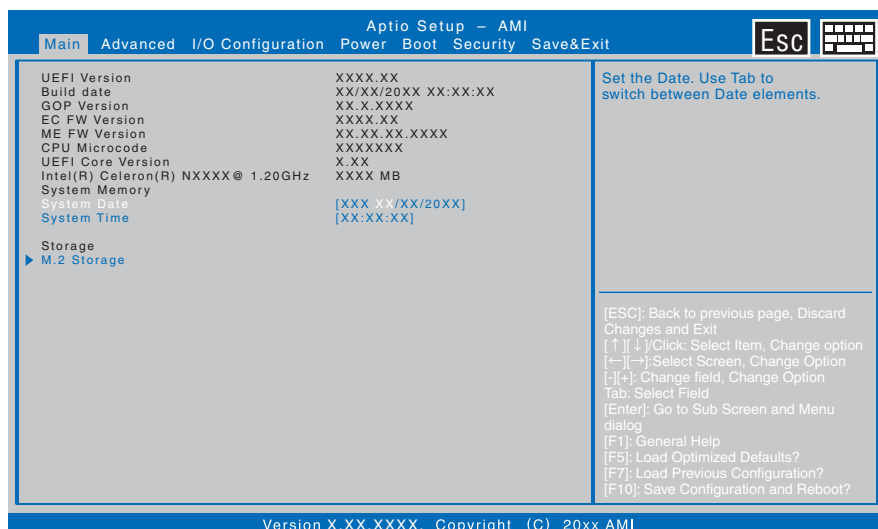
外付けのキーボードで操作する場合は、キーボードの **[F2]** の位置を確認してください。「UEFI Setup ユーティリティ」の起動方法は、次のとおりです。

1 次のどちらかの方法で「UEFI Setup ユーティリティ」を起動させます。

- 画面操作で起動する：本機を再起動し、右上に表示される **Setup** をタップします。
- 外付けキーボードで操作する：本機を再起動し、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **[F2]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

Windows が起動してしまった場合は、再起動してもう一度実行してください。

2 「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。



< UEFI Setup ユーティリティ画面 (イメージ) >



参考


Boot デバイス選択画面の表示方法

Boot デバイス選択画面を表示する場合は、本機を起動して画面に「EPSON」と表示されたら、画面右上の **BBS** をタップします。

UEFI Setupユーティリティの操作

「UEFI Setup ユーティリティ」の操作方法を説明します。

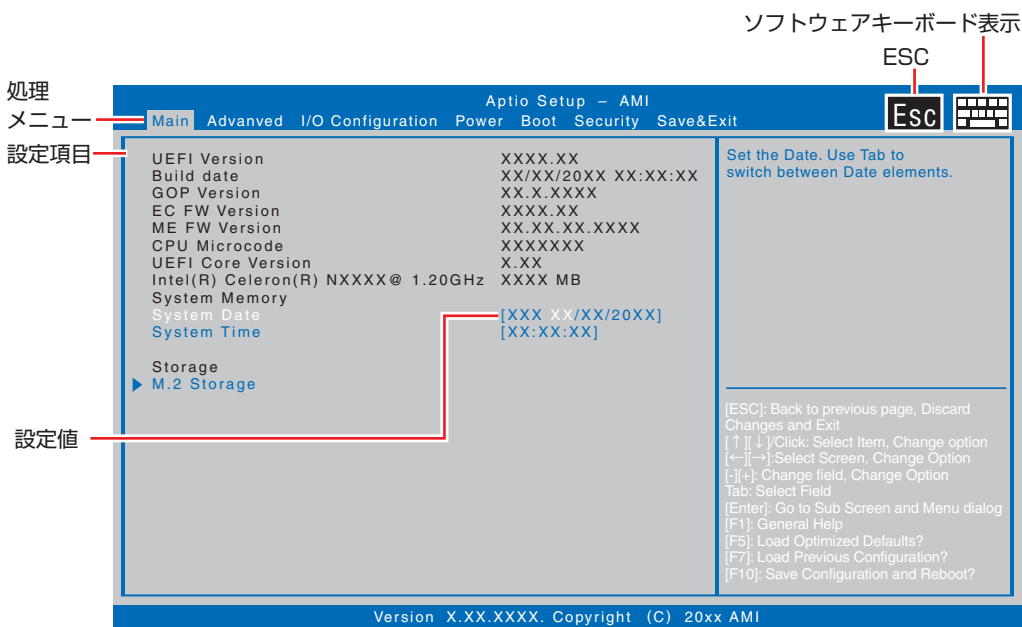
ここで説明している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。

各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.99 「UEFI Setup ユーティリティの設定項目」をご覧ください。

画面の構成


UEFI Setup ユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。

この画面で設定値を変更することができます。




<メニュー画面>

ESC をタップすると、前の画面に戻ります。

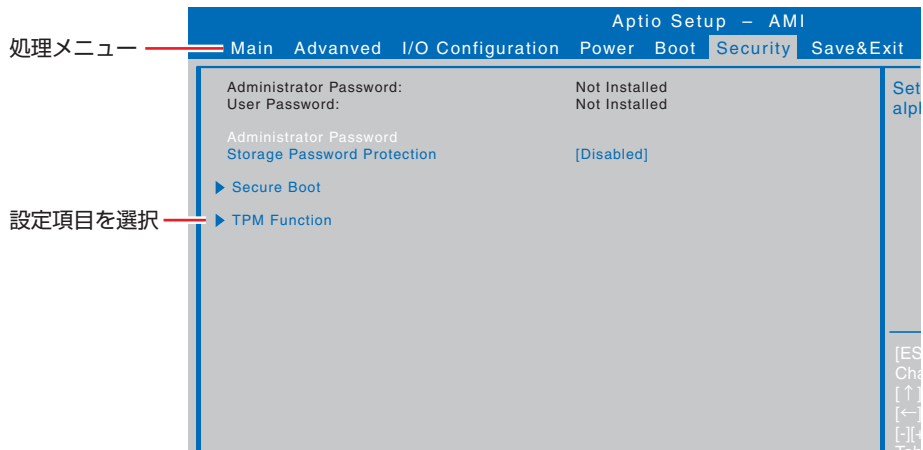
画面右上の  をタップすると、アイコンが緑色になり、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。アイコンをタップするたびに、ソフトウェアキーボードの表示／非表示が切り替わります。

操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。
画面右上の  からソフトウェアキーボードを表示して操作することもできます。
また、外付けのキーボードでも操作可能です。


- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択（タップ）し、設定項目を選択（ダブルタップ）します。

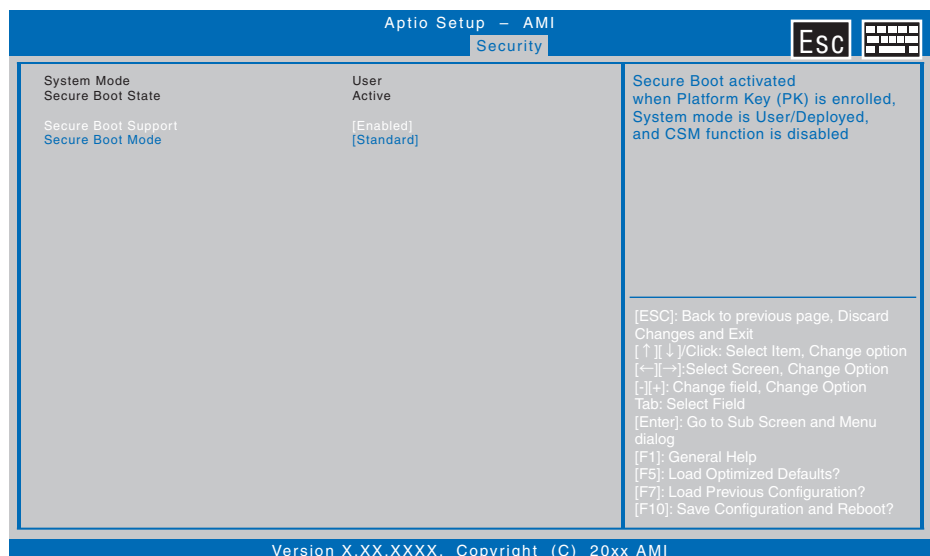
キーボードで操作する場合は、    で項目を選択し、 (Enter) で決定します。



<メニュー画面>

サブメニュー画面




設定項目によっては、ダブルタップするとサブメニュー画面が表示される場合があります。
キーボードで操作する場合は、項目を選択し、 (Enter) を押し、表示されます。

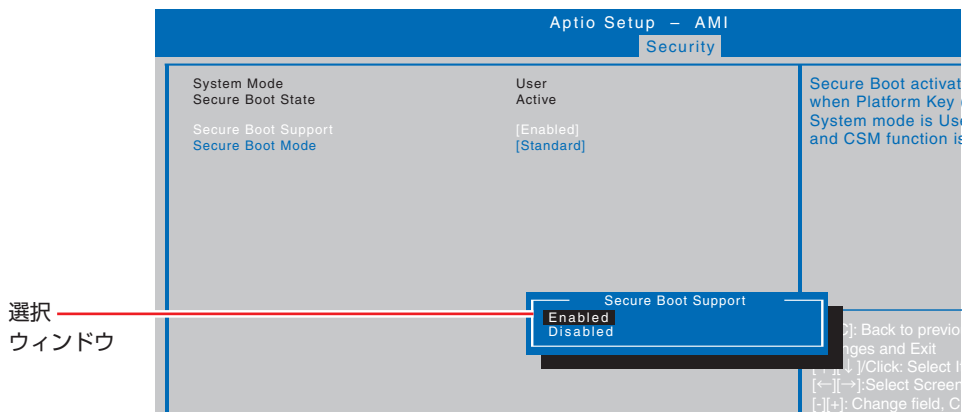


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面からメニュー画面に戻るには、画面右上の **Esc** を押します。









- 2** 設定値を選択するウィンドウが表示されたら、選択（ダブルタップ）して決定します。
 キーボードで操作する場合は、  で項目を選択し、 (Enter) を押します。



キー操作

キーボードで操作する場合の、キーの機能は次のとおりです。

キー	操作できる内容
	<ul style="list-style-type: none"> 変更した内容を破棄し、終了します。 サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> サブメニュー画面を表示します。 選択項目の選択ウィンドウを表示します。 設定値を選択します。
	ヘルプを表示します。
	設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
	変更した設定値を保存して終了します。

UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes and Reboot (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Save Changes and Reboot」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、**[F10]** を押します。

Save Changes and Reboot	
Save Changes and Reboot?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、**[↵]** (Enter) を押します。

「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Exit (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Discard Changes and Exit」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、**[Esc]** を押します。

Save & Exit	
Discard Changes and Exit?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、**[↵]** (Enter) を押します。

「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Setup Defaults (UEFI の初期値に戻す)

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※ 次の項目の設定値を UEFI の初期値に戻すことはできません。

- 「I/O Configuration」メニュー画面
- 「Security」メニュー画面

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Load Setup Defaults」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、**F5** を押します。

Load Setup Defaults	
Load Setup Defaults?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、**Enter** を押します。

これで設定値が「UEFI の初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Discard Changes」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージが表示されます。

Discard Changes	
Discard Changes?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、**Enter** を押します。

これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

ユーザー設定値を保存する

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておく、「Load Setup Defaults」を行って、設定値が「UEFIの初期値」になってしまった場合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

Save User Define (ユーザー設定値を保存する)

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。

- 1 UEFI Setup ユーティリティの設定値を変更します。
- 2 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Save User Define」を選択(ダブルタップ)すると、次のメッセージが表示されます。

Save User Define	
Save configuration?	
Yes	No

- 3 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。
キーボードの場合は、[Yes] を選択し、 (Enter) を押します。
これで設定値が保存されます。

Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。

※ 「Save User Define」で設定値を保存後、実行可能になります。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Load Setup User Define」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージが表示されます。

Restore User Defaults	
Restore User Defaults?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (ダブルタップ) します。
キーボードの場合は、[Yes] を選択し、 (Enter) を押します。
これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。本機を使用するユーザーを制限したい場合などに設定します。

パスワードの種類

パスワードには次の 2 種類があります。

- Administrator Password (管理者パスワード)

コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで UEFI にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。

- User Password (ユーザーパスワード)

一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで UEFI にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます。

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードが設定できるようになります。



- 1 「Security」メニュー画面 – 「Administrator Password」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージとソフトウェアキーボードが表示されます。

Create New Password

- 2 パスワードを入力します。

- 「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。
- 外付けキーボードの場合は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。
- パスワードは 8 文字まで入力可能です。

3 **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、**Ent** をタップします。


キーボードの場合は、 (Enter) を押すと、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、 (Enter) を押します。

Confirm New Password


同じパスワードを入力しないと、「ERROR」というメッセージが表示されます。[OK] を選択 (ダブルタップ) して、**1** からやり直してください。

パスワード入力タイミングの設定

UEFI Setup ユーティリティ起動時や、Windows 起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

 p.103 「Security メニュー画面」 - 「Password Check」

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.94 「管理者パスワードの設定」 - **1** で「User Password」を選択し、管理者パスワードと同じ手順で設定します。

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで UEFI にログオンしてください。

※ユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザーパスワードも削除 (解除) されます。

1 「Security」メニュー画面 - 「Administrator Password」を選択 (ダブルタップ) すると、次のメッセージとソフトウェアキーボードが表示されます。

ユーザーパスワードを削除する場合は、「User Password」を選択します。

Enter Current Password

2 設定しているパスワードを入力して **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、パスワードを入力して  (Enter) を押すと、次のメッセージが表示されます。

Create New Password



3 何も入力せずに **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、何も入力せずに  (Enter) を押すと、次のメッセージが表示されます。

WARNING	
Clear Old Password. Continue?	
Yes	No

4 [Yes] をダブルタップします。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、 (Enter) を押すと、次のメッセージが表示されます。

「Administrator Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。

これでパスワードが削除されました。

SSDアクセス制限

SSD アクセス制限のパスワードを設定すると、次の状態になります。

- UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードの入力が必要になる
- SSD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されない

SSD への無断アクセスや、万が一 SSD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、SSD アクセス制限のパスワードを設定します。

SSD アクセス制限の設定 / 解除方法

SSD アクセス制限のパスワード設定方法は次のとおりです。



パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した SSD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。


設定方法





SSD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

1 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、SSD アクセス制限は設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動] をタップします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。

- 2** 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
 p.87 「UEFI Setup ユーティリティの起動」
- 3** 管理者パスワードを設定します。
 p.94 「パスワードの設定方法」
- 4** 「Security」メニュー画面 – 「Storage Password Protection」を「Enabled」に設定します。
 p.94 「管理者パスワードの設定」
- 5** 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Save Changes and Reboot」をダブルタップして、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
キーボードの場合は、**[F10]**を押します。
 p.91 「UEFI Setup ユーティリティの終了」
- 6** Windows が起動したら、本機の電源を切ります。
最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

解除方法

SSD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切ります。
一度電源を切らないと、SSD アクセス制限は設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。
 - 1** 画面左下の  (設定) – 「更新とセキュリティ」 – 「回復」 – 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動] をタップします。
 - 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択します。
Windows が終了します。
- 2** 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
 p.87 「UEFI Setup ユーティリティの起動」
- 3** 「Security」メニュー画面 – 「Storage Password Protection」を「Disabled」に設定します。
 p.94 「管理者パスワードの設定」
- 4** 「Save & Exit」メニュー画面 – 「Save Changes and Reboot」をダブルタップして、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
キーボードの場合は、**[F10]**を押します。
 p.91 「UEFI Setup ユーティリティの終了」



- 5** Windows が起動したら、本機の電源を切ります。
最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、UEFI Setup ユーティリティで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。UEFI Setup ユーティリティのメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
日付、時間の設定を行います。
- Advanced メニュー画面
CPU 機能の設定をします。
- I/O Configuration メニュー画面
デバイスに関する設定を行います。
- Power メニュー画面
起動に関する設定を行います。
- Boot メニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Security メニュー画面
パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。
- Save & Exit メニュー画面
UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻します。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間などの設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

*UEFI Version	本機に搭載されている UEFI のバージョンを表示します。
*Build date	UEFI のバージョンの制定日を表示します。
*GOP Version	GOP のバージョンを表示します。
*EC FW Version	ファームウェアのバージョンを表示します。
*Docking EC FW Version ※ドッキングユニット接続時のみ 表示されます。	ドッキングユニット (オプション) のファームウェアのバージョンを表示します。
*ME FW Version	ファームウェアのバージョンを表示します。
*CPU Microcode	CPU のマイクロコードを表示します。
*UEFI Core Version	UEFI Core のバージョンを表示します。
*System Memory	本機に搭載されているメモリー容量を表示します。
System Date	日付を設定します。(曜日 / 月 / 日 / 年) の順で表示されています。
System Time	時刻を設定します。(時 : 分 : 秒) の順で表示されています。
Storage	本機に搭載されているストレージを表示します。

M.2 Storage	<p>本機に搭載されている M.2 SSD の設定をします。</p> <p>*Model name : M.2 SSD の型番を表示します。</p> <p>*SIZE : M.2 SSD の容量を表示します。</p> <p>*F/W : ファームウェアのバージョンを表示します。</p> <p>Interface : M.2 SSD を使用するかどうかを設定します。</p> <p>Enabled : 有効にします。</p> <p>Disabled : 無効にします。</p>
-------------	--

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPU 機能の設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
* は項目表示のみ

CPU Configuration	<p>本機に搭載されている CPU の設定をします。</p> <p>※表示される項目は、CPU により異なります。</p>
*CPU name	CPU の型番
*Processor Speed	CPU の周波数
*CPU Microcode	CPU のマイクロコード
*Cache	キャッシュメモリ
Intel Virtualization Technology (VT-X)	<p>Intel Virtualization Technology (VT-X) の有効 / 無効を設定します。</p> <p>Disabled : 無効にします。</p> <p>Enabled : 有効にします。</p>
Intel Virtualization Technology (VT-D)	<p>Intel Virtualization Technology (VT-D) の有効 / 無効を設定します。</p> <p>Disabled : 無効にします。</p> <p>Enabled : 有効にします。</p>
Intel GRST	<p>Graphics Render Standby Technology (GRST) の有効 / 無効を設定します。</p> <p>Disabled : 無効にします。</p> <p>Enabled : 有効にします。</p>
Enhanced C-States	初期値 [Enabled] で使用します。
C State support	初期値 [C10] のままで使用します。
Battery Charging Settings	バッテリー充電の設定をします。
Stop Charging	<p>バッテリー充電モードの設定をします。</p> <p>80% : AC アダプター接続モード</p> <p>100% : バッテリー駆動モード</p> <p>※システムを完全に終了 (p.21) させたあと AC アダプターを抜き差しすると設定が完了します。必ず AC アダプターの抜き差しを行ってください。</p>
Start Charging Offset	<p>充電を開始するバッテリー残量を設定します。</p> <p>- 5% : バッテリー充電モードで設定した充電の上限から、5%以上充電残量が低下すると充電を開始します。</p> <p>- 10% : バッテリー充電モードで設定した充電の上限から、10%以上充電残量が低下すると充電を開始します。</p>
Start Charging from	充電を開始するバッテリー残量を表示します。

I/O Configurationメニュー画面

「I/O Configuration」メニュー画面では、マザーボード上のデバイスの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Wireless LAN	無線 LAN の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Bluetooth ※購入時は「Disabled」に設定されています。	Bluetooth の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Front Camera ※購入時は「Disabled」に設定されています。	前面カメラ機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Rear Camera ※購入時は「Disabled」に設定されています。	背面カメラ機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Audio Function	サウンド機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Sensor Function ※購入時は「Disabled」に設定されています。	照度センサーの機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Touch Panel	タッチパネル機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
GPS ※購入時は「Disabled」に設定されています。	GPS 機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Micro SD Slot	メモリーカードスロットの有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Tablet USB port	USB 機能の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Docking COM Port Support ※購入時は「Disabled」に設定されています。	ドッキングユニット (オプション) のコネクタの有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
AC Power saving ※購入時は「Enabled」に設定されています。	タブレットの AC アダプターの節電機能を有効 / 無効にします。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
BAT_LED Power saving ※購入時は「Enabled」に設定されています。	タブレットのステータス LED の節電機能を有効 / 無効にします。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。

Docking ※ドッキングユニット接続時のみ表示されます。	ドッキングユニット（オプション）からの電源供給以外のすべての機能を有効/無効にします。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
USB Port ※ドッキングユニット接続時のみ表示されます。	ドッキングユニット(オプション)のUSBコネクターの有効/無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
LAN Port ※ドッキングユニット接続時のみ表示されます。	ドッキングユニット（オプション）の有線LANコネクターの有効/無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。

Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、起動に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Power On By WOL ※ドッキングユニット接続時のみ表示されます。	電源切断時、ネットワークから起動するかどうかを設定します。 この機能は、Windows を正常に終了した状態でのみ使用可能です。 Enabled: 設定します。 Disabled: 設定しません。
Power On by RTC Alarm	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。 Disabled: 設定しません。 Enabled: 設定します。 ※ この機能を使用する場合は、本機を次の状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • ACアダプターを接続する • 高速スタートアップを無効にする (p.22) • 「AC Power saving」(p.101) を「Disabled」に設定する
RTC Alarm Date ^{*1}	起動する日時を設定します。 起動日を毎日にした場合は、「RTC Alarm Date」を「0」に設定します。
Wake up Hour ^{*1}	
Wake up Minute ^{*1}	
RTC Alarm Second ^{*1}	

^{*1} 「Power On by RTC Alarm」を [Enabled] にすると、設定可能になります。


Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Boot Setting Configuration		コンピューター起動時の設定をします。
Default Display ※ドッキングユニット接続時は、設定に関わらず本機に表示されます。		コンピューター起動時の EPSON ログ表示やセットアップメニューを表示する画面を設定します。 Tablet : 本機に表示します。 Ext-Display : 外付けディスプレイに表示します。
Power-On Screen Logo		コンピューター起動時に EPSON ログを表示するかどうかを設定します。 Disabled : 表示しません。 Epson logo : 表示します。
PXE Boot from Docking ※ドッキングユニット接続時のみ表示されます。		ドッキングユニット（オプション）からの PXE ブートの有効 / 無効を設定します。 Disabled : 無効にします。 Enabled : 有効にします。
Boot Option Priority	Boot Option #1	1 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Hard Drive
	Boot Option #2	2 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Removable Device
	Boot Option #3	3 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : USB Hard Drive
	Boot Option #4	4 番目に起動するドライブを設定します。 初期値 : Network

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。パスワードの設定方法は、 p.94 「パスワードを設定する」をご覧ください。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ


*Administrator Password/ User Password	Administrator Password（管理者パスワード）と User Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Not Installed : パスワードが設定されていません。 Installed : パスワードが設定されています。
Administrator Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
User Password ※管理者パスワードを設定すると設定可能になります。	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。

User Access Level	<p>「User Password」(ユーザーパスワード)で「UEFI Setup ユーティリティー」にアクセスするときのアクセス制限レベルを設定します。</p> <p>Full Access : ユーザーパスワード使用者に管理者と同一の権利を許可します。「UEFI Setup ユーティリティー」のすべての項目を設定したり閲覧したりすることができます。ただし、管理者パスワードの変更はできません。</p> <p>Limited : 「UEFI Setup ユーティリティー」を閲覧できるほかに、ユーザーパスワードなど一部の設定項目を変更できます。</p> <p>ViewOnly : ユーザーパスワード使用者は「UEFI Setup ユーティリティー」を閲覧できますが、設定項目の変更はできません。</p> <p>No Access : ユーザーパスワード使用者は「UEFI Setup ユーティリティー」を起動することができません。</p>
Storage Password Protection ※管理者パスワードを設定すると表示されます。	<p>SSD へのアクセス制限の有効 / 無効を設定します。有効に設定すると、UEFI、システムへのアクセスが制限され、UEFI 起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。</p> <p>Disabled : SSD へのアクセスを制限しません。</p> <p>Enabled : SSD へのアクセスを制限します。</p> <p>※ SSD アクセス制限を設定 / 解除する場合は、必ず本機の電源を一度切ってから行ってください。また、設定 / 解除後にも本機の電源を切ってください。</p>
Password Check	<p>パスワード入力を要求するタイミングを設定します。</p> <p>Setup : UEFI 起動時にパスワード入力を要求します。</p> <p>Always : UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。</p>
Secure Boot	<p>セキュアブートの設定をします。</p>
*System Mode	<p>システムモードの状態が表示されます。</p> <p>User : セキュアブートのキーが適用されています。</p> <p>Setup : セキュアブートのキーが適用されていません。</p>
*Secure Boot State	<p>セキュアブートの状態が表示されます。</p> <p>Active : セキュアブートが適用されています。</p> <p>Not Active : セキュアブートが適用されていません。</p>
Secure Boot Support	初期値 [Enabled] で使用します。
Secure Boot Mode	初期値 [Standard] で使用します。
TPM Function	セキュリティーデバイス (インテル PTT) に関する設定をします。
Security Device Support	<p>セキュリティーデバイス (インテル PTT) の有効 / 無効を表示します。</p> <p>Disabled : 無効にします。</p> <p>Enabled : 有効にします。</p>
Clear Trusted Platform Module	<p>セキュリティーデバイス (インテル PTT) に保存されている情報を初期化します。本機で初めてセキュリティーデバイス (インテル PTT) を使用する際は、初期化してください。</p> <p>値を [OK] に設定し、UEFI Setup ユーティリティーを終了すると、情報が初期化されます。</p> <p>※ 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。セキュリティーデバイス (インテル PTT) 使用後に初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行ってください。</p> <p>※ セキュリティーデバイス (インテル PTT) の初期化は Windows 上でも行うことができます。</p>

Save & Exitメニュー画面

「Save & Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、設定を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Reboot	変更した内容（設定値）を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes and Exit	変更した内容（設定値）を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Setup Defaults	設定を初期値に戻します。 ※「I/O Configuration」メニュー画面の各項目および「Security」メニュー画面の各項目は、初期値に戻すことができません。
Save User Define	UEFI の設定値をユーザー設定値として保存します。
Load Setup User Define ※「Save User Defaults」で設定値を保存後、実行可能になります。	設定値をユーザー設定値に戻します。
Load Eco Setting	「I/O Configuration」メニューの設定値を購入時の状態に戻します。
Battery Storage Setting	輸送・保管モードの設定をします。※バッテリー非搭載時は設定できません。
Shipping Mode	設定前に AC アダプターを取り外してから、[Yes] を選択して本機がシャットダウンすると、輸送・保管モードに設定されます。 電源を入れるときは、本機に AC アダプターを接続してから電源スイッチを押してください。  p.35 「長期間使用しないときは」



3

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら.....	108
起動・画面表示できないときは.....	109
トラブル時に効果的な対処方法.....	112
再インストール（PCを初期状態に戻す）.....	117

トラブルが発生したら


困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合

起動・画面表示できる場合は、次の場所で対処方法を探してください。

Windows のトラブルシューティングツール

Windows にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「トラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをタップして、トラブルシューティングを行ってください。

起動・画面表示できない場合

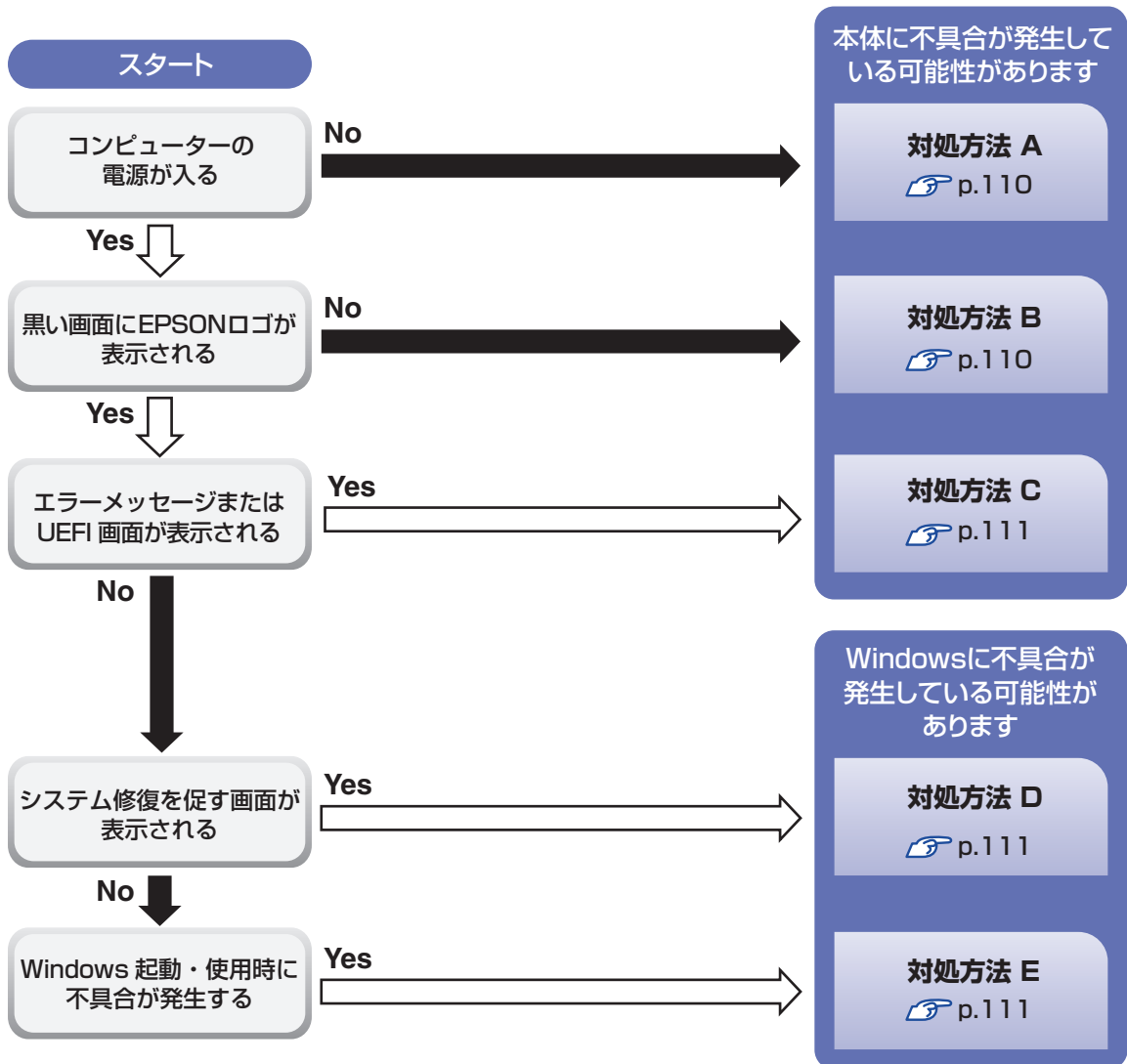
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.109 「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、[👉 p.110](#)「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

3 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 C

起動時に「Reboot and Select...」というエラーメッセージまたは UEFI の画面が表示される場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


対処方法 D

次のとおり対処してみてください。

1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する

2 再インストールする

SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.117 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 常駐アプリを停止する

常駐アプリ (システム稼働中、常に稼働しているアプリ) を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

 p.113 「常駐アプリの停止」


4 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.93 「Load Setup User Define (ユーザーの初期設定値に戻す)」











5 再インストールする

SSD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.117 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。


機能	こんなときに
再起動  p.112 本機を再起動します。	・ 使用しているアプリで指示があった場合 ・ アプリや Windows の動作が不安定になったとき
アプリの強制終了  p.113 アプリを強制終了します。	・ アプリが反応しなくなったとき
強制的に電源を切る  p.113 強制的に本機の電源を切ります。	・ Windows やアプリが入力を受け付けず、反応しなくなったとき
常駐アプリの停止  p.113 不具合のある常駐アプリを停止します。	・ Windows が正常に起動しないとき ・ 動作が不安定になったとき
システムの復元  p.113 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・ Windows が正常に起動しないとき ・ 動作が不安定になったとき
UEFI の初期化  p.92 UEFI の設定を初期値に戻します。	・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき ・ 動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換  p.114 リチウム電池を交換します。	・ 日時や時間がおかしくなる ・ UEFI で設定した値が変わってしまう
PC を初期状態に戻す  p.117 Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	・ Windows が正常に起動しないとき ・ 動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動しないとき）
Windows 回復環境 (Windows RE)  p.115 Windows を修復します。	・ システム回復を促す画面が表示されたとき ・ Windows が正常に起動しないとき ・ 動作が不安定になったとき
システム診断ツール  p.116 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・ 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合


本機の再起動方法は、次のとおりです。

- 1** 画面左下の  (電源) - 「再起動」をタップします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。


アプリの強制終了

アプリが反応しなくなった場合は、強制終了を行います。
アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** 画面左上の  (すべてのアプリ) – 「Windows システム ツール」 – 「タスク マネージャー」をタップします。
- 2** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、一覧からアプリを選択し、[タスクの終了]をタップします。
アプリが終了します。


強制的に電源を切る

本機の反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源スイッチ () を 5 秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ (システム稼動中、常に稼動しているアプリ) が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。
常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。


- 1** 画面左下の  (設定) – 「アプリ」 – 「スタートアップ」をタップします。
- 2** スタートアップアプリの一覧が表示されたら、不具合の原因となっている可能性のある項目 (常駐アプリ) を [オフ] にします。
常駐アプリが原因でなかった場合、[オン] に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態 (復元ポイントを作成した時点の状態) に戻すことで、問題が解決できることがあります。

※ この機能は事前に「システムの保護を有効にする」(p.27) 設定を行っていた場合に使用できます。

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** 画面左上の  (すべてのアプリ) – 「Windows システムツール」 – 「コントロールパネル」 – 「システムとセキュリティ」 – 「システム」 – 「システムの保護」をタップします。



2 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、[システムの復元] をタップします。

3 復元ポイントを選択します。

「システムファイルと設定を復元します。」と表示された場合

1 「推奨される復元」を選択し、[次へ] タップします。

「別の復元ポイントを選択する」を選択した場合は、復元ポイントを選んで作業を進めてください。

「システムファイルと設定の復元」と表示された場合

1 画面の内容を確認し、[次へ] をタップします。

2 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をタップします。

4 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をタップします。

5 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をタップします。
コンピューターが再起動します。

6 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をタップします。

これでシステムの復元は完了です。

リチウム電池の交換

「UEFI Setup ユーティリティ」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったく無い場合、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。

日付や時間がおかしくなったり、UEFI で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。修理受付窓口までご連絡ください。

Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機の SSD 内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。


Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



参考

Windows RE を手動で起動する

Windows が起動する場合は、次の場所から Windows RE を起動できます。

画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動] をタップ

自動修復

PC が正常に起動しませんでした

[再起動] を押して PC を再起動すると、問題を解決できる場合があります。また、[詳細オプション] を押して、その他の方法で PC の修復を試すこともできます。

再起動

詳細オプション


<イメージ>



「トラブルシューティング」の各項目を実行すると、トラブルが解決する場合があります。

●この PC を初期状態に戻す

Windows を再インストールして、本機を初期状態に戻します。

 p.117 「再インストール (PC を初期状態に戻す)」

●EPSON UTILITY


●システム診断ツール

システム診断ツールを起動し、システム診断を行います。

 p.116 「システム診断ツールを使う」

●HDD 消去ツール

HDD 消去ツールを起動し、SSD のデータを消去します。

 p.126 「SSD のデータを消去する」

●詳細オプション

・システムの復元

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

 p.113 「システムの復元」

・更新プログラムのアンインストール

最近インストールした品質または機能の更新プログラムを Windows から削除します。

・イメージでシステムを回復 *1

特定システムイメージファイルを使って Windows を回復します。

・スタートアップ修復

Windows の読み込みを妨げている問題を修正します。

・コマンドプロンプト

高度なトラブルシューティングのためにコマンドプロンプトを使います。

・UEFI ファームウェアの設定

PC の UEFI ファームウェア (UEFI Setup ユーティリティ) の設定を変えます。

・スタートアップ設定 *2

Windows のスタートアップ動作を変更します。

*1 Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC のみ

*2 Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC のみ

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。


Windows RE からシステム診断ツールを起動します。

Windows RE からシステム診断を行う手順は、次のとおりです。

- 1** 「Windows RE」 (p.115) が起動したら、起動した画面から [詳細オプション] を表示します。
- 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をタップします。
- 3** 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をタップします。
コンピューターが再起動します。
- 4** 「OEMTool」画面が表示されたら、「システム診断ツール」をタップします。
- 5** システム診断ツールが起動したら、[診断開始] をタップします。
診断が開始します。
- 6** 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「PASS」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。

「FAIL」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。

 別紙 『サポート・サービスのご案内』 をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。



再インストール（PC を初期状態に戻す）

本機を初期状態に戻す方法を説明します。

再インストールとは

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。本機にトラブルが発生したときに、再インストールを行うと、トラブルが解決する場合があります。

再インストール方法には、次の 2 つがあります。目的や状況に応じた方法を選択してください。

個人用ファイルを保持して再インストール  p.118	<ul style="list-style-type: none">●本機を初期状態に戻します。●作成したアカウントは保持されます。●個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は保持されます。
すべてを削除して再インストール  p.119	<ul style="list-style-type: none">●本機を初期状態に戻します。●作成したアカウントは削除されます。●個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は削除されます。●「個人用ファイルを保持して再インストール」で問題が改善しない場合に行います。

※ いずれかの方法で実施する場合であっても、設定・データのバックアップを行うことをお勧めします。

※ 必要に応じて「Lockdown Setting Tool」の設定をエクスポートしてください。

 **別紙** 『Lockdown Setting Tool 取扱説明書』 - 「設定のインポート・エクスポート」



SSD の「リカバリー領域」（p.41）は削除しないでください。「リカバリー領域」には PC を初期状態に戻すためのデータが設定されています。

個人用ファイルを保持して再インストール


Windows が正常に起動しないときや動作が不安定になった場合には、個人用ファイルを保持して再インストールします。

個人用ファイルを保持して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** 管理者アカウントでサインインします。
- 2** 画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」をタップします。
- 3** 「更新とセキュリティ」画面が表示されたら、「回復」をタップし、「この PC を初期状態に戻す」の【開始する】をタップします。
- 4** 「オプションを選択してください」と表示されたら、【個人用ファイルを保持する】をタップします。
- 5** 表示された画面に従って操作を行います。

<Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC の場合>

- 1** 「お使いのアプリは削除されます」と表示された場合は、【次へ】をタップします。

<Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC の場合>

- 1** 「Windows を再インストールする方法を選択します」と表示された場合は、「クラウドからダウンロード」または「ローカル再インストール」をタップします。
- 2** 「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して【次へ】をタップします。

- 6** 「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して【リセット】をタップします。

削除されるアプリを確認する場合は、【削除されるアプリを表示します】をタップします。


本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。

処理が終了すると、デスクトップが表示されます。

必要に応じて、モードの切り替え (p.22) や再設定、アプリのインストールを行ってください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

 p.115 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

すべてを削除して再インストール

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「個人用ファイルを保持して再インストール」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、初期状態に戻したい場合

再インストール方法は次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ C ドライブの設定やデータは、再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。


※ 必要に応じて「Lockdown Setting Tool」の設定をエクスポートしてください。

 別紙 『Lockdown Setting Tool 取扱説明書』 - 「設定のインポート・エクスポート」

※ バッテリー搭載機種の場合、再インストールは AC アダプターを接続した状態で行ってください。

Windows が起動する場合

Windows が起動する場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

- 1** 管理者アカウントでサインインします。
- 2** 画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」をタップし、「この PC を初期状態に戻す」の【開始する】をタップします。
- 3** 「オプションを選択してください」と表示されたら、【すべて削除する】をタップします。
- 4** 表示された画面に従って操作を行います。

<Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC の場合 >

- 1** 「この PC を職場用に設定したままにする」と表示された場合は、【はい】をタップします。
- 2** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 3** 「ドライブのクリーニングも実行しますか?」と表示されたら、【ファイルの削除のみ行う】をタップします。

<Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC の場合 >

- 1** 「Windows を再インストールする方法を選択します」と表示された場合は、「クラウドからダウンロード」または「ローカル再インストール」をタップします。
- 2** 「追加の設定」と表示されたら、設定を確認して【次へ】をタップします。
削除するファイルの設定を変更する場合は、【設定の変更】をタップして、設定を変更してください。



5 「この PC をリセットする準備ができました」と表示されたら、処理の内容を確認して、[リセット] をタップします。

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやマウスを操作しないでください。

処理が終了すると、Windows のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。

※ 再インストール後には作業が必要です。🔗 p.120 「再インストール後の作業」をご覧ください。

Windows が起動しない場合

Windows が起動しない場合は、SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

※ 再インストール後には作業が必要です。🔗 p.120 「再インストール後の作業」をご覧ください。

再インストール後の作業

再インストール (PC を初期状態に戻す) を行った場合は、再インストール後に次の作業を行ってください。

- デバイスのロックダウンの設定 🔗 p.120

Windows 10 IoT Enterprise のロックダウン機能 (シェルランチャー、キーボードフィルターなど) を使用するための設定です。必ず設定を行ってください。

- Lockdown Setting Tool の設定 🔗 p.121

Lockdown Setting Tool はドライブの保護やデジタルサイネージ設定のためのツールです。

- アプリのインストール 🔗 p.121

デバイスのロックダウン (Device Lockdown) の設定

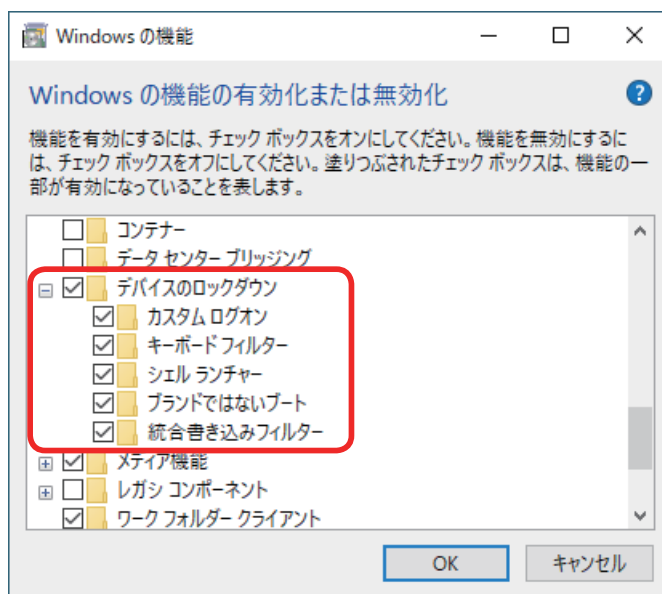
ロックダウン (Lockdown) 機能を使用するために、次の設定を行ってください。

※ この設定を行わないと、Lockdown Setting Tool は使用できません。

1 [スタート] をタップアンドホールド - 「アプリと機能」 - (下までスクロール)

「プログラムと機能」 - 画面左の「Windows の機能の有効化または無効化」をタップします。

- 2** 「Windows の機能」画面が表示されたら、「デバイスのロックダウン (Device Lockdown)」項目すべてにチェックを付けます。



<Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC の場合 >

- 3** [OK] をタップします。
「必要なファイルを検索しています。」と表示されます。
- 4** 「必要な変更が完了しました。」と表示されたら、[今すぐ再起動] をタップします。
Windows が起動したら設定は完了です。

設定後に **2** の画面を開いてチェックが外れていた場合は、チェックを付けなおしてください。

Lockdown Setting Tool の設定

必要に応じて「Lockdown Setting Tool」の設定を行ってください。
再インストールの前に設定ファイルを保存しておいた場合は、インポートして設定を反映します。
[別紙](#)『Lockdown Setting Tool 取扱説明書』 - 「設定のインポート・エクスポート」

アプリのインストール

必要に応じてアプリのインストールを行ってください。





付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ	124
コンピューターを廃棄するときは.....	125
機能仕様一覧	127

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

LCD 画面

LCD 画面は乾いた柔らかい布などで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、SSD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中の SSD という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この SSD 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に ② ～ ⑤ の操作をしても、SSD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの SSD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、SSD 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、SSD に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、SSD 上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、SSD 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

SSDのデータを消去する

本機を廃棄する前に SSD のデータを消去してください。



SSD のデータ消去は、「HDD 消去ツール」を使って行います。HDD 消去ツールを使用すると、SSD 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、SSD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。









制限

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。SSD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

- 1** 画面左下の  (設定) - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動] をタップします。
- 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」をタップします。
- 3** 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「EPSON UTILITY」をタップします。
コンピューターが再起動します。
- 4** 「OEMTool」画面が表示されたら、「HDD 消去ツール」をタップします。
- 5** 「HDD 消去ツール」画面が表示されたら、データを消去したい HDD/SSD にチェックを入れ、「ゼロ消去」をタップします。
- 6** 「消去」をタップします。
- 7** 「本当に消去してよろしいですか」と表示されたら、[OK] をタップします。
消去が開始され、進行状況が表示されます。
- 8** 「消去成功」と表示されたら、[閉じる] をタップします。
- 9** 「HDD 消去ツール」画面で [閉じる] をタップします。
- 10** 消去が終了したら、本機の電源を切ります。
 - 1** 「OEMTool」画面が表示されたら、画面右上の  をタップします。
 - 2** 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をタップします。

これでデータの消去は終了です。

機能仕様一覧

型番	JT70	
CPU	購入時の選択による  p.128	
チップセット	CPU 内蔵	
UEFI	AMI	
メインメモリー	規格	LPDDR4x-4266 SDRAM 使用 * ¹
	搭載容量	購入時の選択による  p.128
GPU	Intel UHD Graphics for 10th Gen Intel Processors	
ビデオメモリー (VRAM) (メインメモリーと共用)	メインメモリー 4GB 時 最大 2098MB メインメモリー 8GB 時 最大 4146MB	
ディスプレイ	11.6 型 HD 液晶、グレア、LED バックライト	
タッチパネル	静電容量方式 (10 点マルチタッチ対応)	
表示解像度 (最大)	1366 × 768 (約 1,677 万色)	
外部ディスプレイ表示解像度	 p.54	
記憶装置	PCI Express x2 (Gen3) 対応 M.2SSD (容量は購入時の選択による)  p.128	
サウンド機能	インテル ハイデフィニション・オーディオ対応、 ステレオスピーカー (1W × 2)、ステレオマイク	
無線 LAN / Bluetooth	Intel Wireless-AC 9260  p.128	
インタフェース	USB/ディスプレイ Type-C	USB 10Gbps (USB 3.2 Gen2) コネクター (左側面上) × 1 * ² * ⁴
	USB Type-A	USB 10Gbps (USB 3.2 Gen2) コネクター (左側面中) × 1
	USB Type-C	USB 5Gbps (USB 3.2 Gen1) コネクター (左側面下) × 1 * ³ * ⁴
	サウンド	ヘッドホン出力 (ステレオ) & マイク入力 (モノラル) 共用 (左側面) × 1
メモリーカードスロット (左側面)	1 : マイクロ SD メモリーカード (SDHC/SDXC 対応) * ⁵	
カメラ	2 : 前面 (207 万画素)、背面 (503 万画素)	
センサー	加速度センサー、地磁気センサー、ジャイロセンサー、照度センサー、GPS	
セキュリティ機能	インテル PTT (TPM2.0 対応)、セキュリティロックスロット (右側面)	
電源	AC アダプター * ⁶ (EDADP065-03)	入力 : AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.8A (入力波形は正弦波のみをサポート) 出力 : DC5 ~ 9V : 2.0A、DC15V : 3.0A、DC20V : 3.25A、65W 質量 : 約 313g (電源コード含む)
	バッテリー (オプション)	容量 : 5585mAh リチウムイオンポリマー 7.7V 充電時間 / 駆動時間  p.31
本体寸法 (幅×奥行×高さ)	約 300.0 × 195.0 × 15.0 mm	
本体質量	バッテリー搭載時 : 約 990g バッテリー非搭載時 : 約 820g	
消費電力 (最大定格出力時) (理論値)	約 73.9W	
動作環境	動作温度 : 0 ~ 35℃、動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	

*¹ 3200MHz で動作。

*² オルタナートモードによるディスプレイポート出力対応。USB Power Delivery 対応。最大出力 : 10W (5V-2A)。

*³ USB Power Delivery 対応。最大出力 : 5W (5V-1A)、入力 : 45W (20V-2.25A) 以上。

*⁴ すべての USB Power Delivery 対応機器の動作を保証するものではありません。接続した機器による事故や故障につきましては、当社では一切責任を負いかねます。

*⁵ 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

*⁶ 本製品は国内専用 (AC100V 50/60Hz) のため、海外での使用は保証対象外。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。

<https://faq2.epsondirect.co.jp/qa/Detail.aspx?id=38086>

購入時の構成情報を確認する

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって仕様がカスタマイズされています。お使いのコンピューターのご購入時の構成情報は次の場所をご覧ください。

<https://support1.epsondirect.co.jp/ssl/cts/config/serial.asp>

無線機能

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

Bluetooth の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 Ver.5.1
通信速度	3Mbps

無線 LAN

無線 LAN の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Wi-Fi 5 (IEEE802.11ac/a/b/g/n) ARIB STD-T66 (b/g/n)、STD-T71 (ac/a/n)
データ転送速度 (規格値) *1	IEEE802.11a/g : 54Mbps IEEE802.11b : 11Mbps IEEE802.11n : 300Mbps (2x) IEEE802.11ac : 1733.3Mbps (2x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値) *2	IEEE802.11a : 12m IEEE802.11b : 40m IEEE802.11g : 25m
セキュリティ *3	IEEE802.11a/b/g : WEP、WPA (TKIP/AES)、WPA2 (AES)、WPA3 (Personal/Enterprise*4) IEEE802.11n : WPA (AES)、WPA2 (AES) IEEE802.11ac : WPA (AES)、WPA2 (AES)、WPA3 (Personal/Enterprise*4)
使用無線 チャンネル	IEEE802.11ac/a/n : 36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n : 1 ~ 13ch

*1 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*2 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

*3 IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

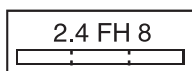
*4 Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC のみ

電波に関するご注意

無線機能選択時、本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz (W52、W53) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - (1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
 - (2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - (3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

センサー類について

本機には、センサー（照度、ジャイロ、加速度、地磁気、GPS）が搭載されており、対応するアプリでセンサーを利用できます。



制限

購入時、センサー類は UEFI 上で「無効」(Disabled) に設定されています。
機能を使用する場合は「有効」(Enabled) に設定変更してください。



p.88 「UEFI Setup ユーティリティの操作」



p.101 「I/O Configuration メニュー画面」

各センサーの出力は、ご使用の環境や使用状況により誤差が生じますので、あくまで目安としてご使用ください。

ご使用中のディスプレイモードや本機の持ち方、使用するアプリなどによってはセンサーの認識する方向が実際と異なることがあります。

- 磁場環境が悪い場所
- 鉄筋のビルや鉄橋など鉄製建造物の内部・周辺
- 自動車や電車の内部・周辺、電車の架線の周辺
- 地上に置かれたトランス、高圧電線の付近
- 金属を含む家具や道具の付近
- 磁石やスピーカーなど強い磁力を帯びた物体の周辺
- AC アダプターや周辺機器の近く

地磁気センサーの示す方位がずれてしまった場合は、電源が入った状態で本機を次のように動かしてください。

- ① 本機の LCD 画面が、地面に対して水平になるように持ちます。
- ② そのまま水平を保ちながら 90 度以上回転させます。
- ③ 本機の LCD 画面が地面に対し垂直になるまで 90 度以上回転させます。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、AC アダプターなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

* LCD 画面を最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

レーザー製品安全基準

<レーザーマウス添付の場合>

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について

当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。



<https://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Internet Explorer、Microsoft Edge、Windows、Windows ロゴ、Outlook、OneDrive は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- そのほかの会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

特許について

本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。

patentlist.accessadvance.com



エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/